

第5次上里町総合振興計画
前期基本計画
効果検証シート

目次

基本理念1. 健やかで安心なまち

基本目標1. 保健・医療の充実	2
基本目標2. 地域福祉の充実	3
基本目標3. 子ども・子育て支援の充実	4
基本目標4. 高齢者福祉・介護の充実	6
基本目標5. 障害者(児)福祉の充実	8

基本理念2. 快適で安全なまち

基本目標6. 都市基盤の充実	10
基本目標7. 情報基盤・発信力の強化	11
基本目標8. 環境保全の推進	12
基本目標9. 快適な住環境の確保	13
基本目標10. 消防・防災の強化	15
基本目標11. 防犯・交通安全対策の強化	16

基本理念3. 実り豊かなまち

基本目標12. 農業の振興	18
基本目標13. 商工業の振興	19
基本目標14. 観光・交流のまちづくりの推進	20
基本目標15. 雇用対策の推進	21

基本理念4. 人が輝くまち

基本目標16. 学校教育の充実	23
基本目標17. 生涯学習の充実	24
基本目標18. 生涯スポーツの振興	26

基本理念5. みんなで支えあうまち

基本目標19. 住民自治の振興	28
基本目標20. 健全な行財政運営の推進	30

基本理念1. 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
1. 保健・医療の充実	1-1	健康増進事業等の推進 (総合戦略基本目標4-2)	健康保険課	検診事業(胃・大腸・肺・子宮・乳・前立腺がん、歯周疾患、骨粗しょう症、肝炎等)	②概ね順調	がん検診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少している年度もあったが、精検受診率は個別に受診勧奨を実施したこともあり、計画策定時より増加することができた。健康教室・相談、食育推進については、健康づくり推進総合計画に基づき、住民一人ひとりが自ら健康行動を実践できるよう関係機関と協力しながら取組を行った。健康長寿サポーターについては、県が目標としていた町民100人に1人養成した場合の人数301人以上の方が登録した。令和3年度はオンライン講座も実施した。いきいきスタンプラリーは、令和元年度より、ICTを利用した健康マイレージ事業へバージョンアップして実施した。検診会場などでの周知で参加登録者は、順調に増加している。 ・高齢者インフルエンザワクチンは、自己負担額が無料であった令和2年度より接種者数は減少したが、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度より増加している。	がん検診等の受診勧奨及び、精検対象者への受診勧奨を継続していく。 健康長寿サポーターについては、オンライン講座も併用しながら引き続き講座を開催し、健康づくりを推進する。 健康マイレージ事業を実施し、健康づくりを推進する。 健康づくり推進総合計画の目標未達成項目については、引き続き、関係部署と共有し、取組内容について検討していく。	②概ね順調	がん検診受診率については、目標とする数値の達成に至らなかったが、最終目標ともいえる、健康寿命の数値目標は達成しており、施策として効果があったといえる。今後も、上里町健康づくり推進総合計画において、PDCAサイクルにより着実に実行し、健康増進事業の推進に活かすこと。また、後期基本計画においても、事業を継承しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				健康教室					
				健康相談					
				食育の推進					
				人材の育成(各種サポーター)					
				いきいきスタンプラリー事業					
	高齢者予防接種事業(インフルエンザ、肺炎球菌)								
	1-2	国民健康保険等の健全運営	健康保険課	国民健康保険の運営	②概ね順調	国民健康保険制度の適切な運営のため、令和4年度税率改定に向けた運営協議会による協議を行った。特定健診等については、感染症による受診機会減少の影響を受け、受診率が低下した。糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施し、新規患者数は前年に引き続き1人を維持した。【後期】介護予防事業の機会が減り、参加を促すことはできなかった。	特定健診・保健指導については、引き続き適切な勧奨(特に個別健診の受診を促す)を行う受診率向上を図る。人間ドック等の受診の支援も並行して行う。糖尿病性腎症重症化予防対策事業についても必要な勧奨・指導に努める。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、特定健診受診率については、目標数値の達成に至らなかったが、施策としては効果があった。後期基本計画においても、事業を継承しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				後期高齢者医療事務事業					
				特定健康診査・特定保健指導事業					
国民生活習慣病重症化予防対策事業									
1-3	地域医療の確保・強化	健康保険課	負担金等の拠出(休日急患診療所、病院群輪番制、在宅当番医制、小児救急、県外小児後方支援病院、救命救急センター、年末年始休日急患歯科診療)	①順調	救急医療のため、各運営事業に対し負担金等の拠出を継続した。町で開催した災害対策に関する研修に参加した。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても、事業を継承しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
			新型インフルエンザ等対策の推進						
		災害時の医療救護の体制整備							
くらし安全課	災害時の医療救護の体制整備	①順調	「埼玉県北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議」の場において、関係機関と意見交換を行うなど、連携強化を図ってきた。	引き続き、関係機関との連携強化に努めるとともに、災害時の医療救護の体制整備を推進していく。					

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
①		上里町健康づくり推進総合計画の中間評価において目標を達成した数値目標項目の割合	80%	—	80%(平成33年度)	実績値なし	80%	18.2%	80%	実績値なし	実績値なし	令和2年度に中間評価を実施(他の年度は実績値なし)
②	1-1	健康寿命	男性17.37歳 女性20.89歳	男性:17.24歳 女性:20.76歳 (平成26年)	男性17.37歳 女性20.89歳 (平成31年度目標)	男:17.96歳 女:20.75歳 (平成29年実績)	男性17.37歳 女性20.89歳	男:17.69歳 女:20.80歳 (平成30年実績)	男性17.37歳 女性20.89歳	男:17.80歳 女:21.16歳 (令和2年実績)	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:男性83.07歳(18.07歳)、女性85.89歳(20.89歳)
③	1-1	健康長寿サポーターの人数	364人	144人	364人	369人	364人	369人	364人	382人	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更
④	1-1	がん検診受診率	50%	胃:8.1% 大腸:15.8% 肺:21.2% 子宮:39.7% 乳:41.9%	50%(平成33年度)	胃10.7%、 大腸14.4%、 肺19.8%、 子宮43.2%、 乳40.6%	胃8.7%、 大腸11.7%、 肺7.9%、 子宮41.7%、 乳35.4%	50%	胃7.8%、 大腸18.0%、 肺12.9%、 子宮41.9%、 乳33.0%	③未達成(70%未満)	—	
⑤	1-1	がん検診精密検査受診率	胃・大腸・子宮:70%以上 乳:80%以上	胃:62.5% 大腸:71.5% 子宮:35% 乳:63.9% (平成26年度)	胃・大腸・子宮:70%以上 乳:80%以上 (平成33年度)	(1次検診H30)胃86.7%、 大腸76.8%、 肺82.8%、 子宮69.2%、 乳89.9%	胃87.0%、 大腸93.3%、 肺87.5%、 子宮78.4%、 乳97.0%	胃・大腸・子宮:70%以上 乳:80%以上	(1次検診R2)胃88.9%、 大腸80.9%、 肺50.0%、 子宮75.8%、 乳94.4%	①大きく達成(100%以上)	※肺がん検診は精密検査を要する方が少なく、ほとんどが受診。	
⑥	1-2	特定健康診査受診率	60%	34.5%(平成26年度)	60%	42.0%	60%	34.0%	60%	33.5%	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更 目標値:「たまる健★マイレージ」参加者 800人
⑦	1-2	糖尿病性腎症重症化患者数	1人	4人(平成26年度)	1人	0人	1人	0人	1人	0人	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標

基本理念1 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
2. 地域福祉の充実	2-1	権利擁護の推進	高齢者いきいき課	虐待等防止ネットワークの運営(高齢者・障害者・子ども・配偶者等暴力)	①順調 高齢者虐待防止、成年後見制度の利用促進のため、広報で情報提供し、広く周知することができた。警察等の関係機関から情報を集約し、対応することができた。 また、後見制度に関する相談日を毎週木曜日に設け、児玉郡市共同の成年後見制度電話相談窓口も運用し、相談しやすい環境を整備することができた。 令和3年7月9日 成年後見制度利用促進講座開催。 令和3年11月17日 高齢者施設向け高齢者虐待防止講座開催。 各種講座を開催することで、権利擁護に対する理解を深めることができた。	引き続き、虐待防止・成年後見利用促進について広報周知を実施する。児玉郡3町共同の電話相談窓口も継続設置。令和4年4月1日に、成年後見制度に関する中核機関を高齢者いきいき課地域包括支援係へ整備。 成年後見制度についての講演会、高齢者虐待防止講座についても継続実施を予定している。	①順調	成年後見審判町長申立の利用件数について は、目標値の達成に至らなかったが、相談を受けた際の実施体制については準備されている。また、その他の取組については実施できており施策として効果があった。 後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
				成年後見制度利用支援事業					
				虐待等防止ネットワークの運営(高齢者・障害者・子ども・配偶者等暴力)					虐待防止については、情報提供があったのち、迅速に対応をし、施設虐待においては、県の指導を受けながら実態調査を適切に実施してきた。 成年後見制度利用支援については、成年後見に関する「無料電話相談事業」を本庄・児玉郡市で共同実施をした。
		町民福祉課	①順調	虐待防止については、情報提供等があったのち、迅速に対応をし、施設虐待においては、県の指導を受けながら実態調査を適切に実施してきた。 成年後見制度利用支援については、成年後見に関する「無料電話相談事業」を本庄・児玉郡市で共同実施をした。	虐待防止については、情報提供等に対し、迅速に対応をしていく。成年後見制度については、引き続き制度の周知を行いながら、関係各課と審議の上、必要に応じて速やかな町長申立立てを行う。 成年後見に関する「無料電話相談事業」については引き続き実施をする。				
		子育て共生課	①順調	虐待等防止ネットワークの運営(高齢者・障害者・子ども・配偶者等暴力)	要保護児童対策地域協議会(実務担当者会議、個別会議)を開催し、要保護児童の早期発見、適切な保護及び支援を行った。	児童福祉法に基づき、要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関との連携を図り要保護児童の早期発見、適切な保護及び支援に努める。			
		社会福祉協議会支援事業	②概ね順調	民生委員・児童委員協議会について、通常の活動支援の他、コロナ禍における活動支援の為に備品購入等を実施した。 地域福祉計画については、計画の策定(見直し)を実施し、計画に基づく地域福祉活動を推進した。 ふれあいサロン活動については、コロナウイルス感染症対策の為に、活動を自粛した期間もあったが、自粛期間においては、コロナ禍における活動方法等について、各サロン代表者による会議を実施した。	民生委員・児童委員の負担軽減を目指すと共に、コロナ禍における活動支援を継続して行う。 地域福祉計画の策定(見直し)を実施する。 ふれあいサロン活動については、コロナ対策を徹底した開催をすると共に、新規サロン開設への呼びかけを行い、サロン数の増加を図る。				
	民生委員・児童委員の活動支援	地域福祉計画の策定・推進		民生委員・児童委員の負担軽減を目指すと共に、コロナ禍における活動支援を継続して行う。 地域福祉計画の策定(見直し)を実施する。 ふれあいサロン活動については、コロナ対策を徹底した開催をすると共に、新規サロン開設への呼びかけを行い、サロン数の増加を図る。					
	ふれあいサロン活動の促進(社協)	計画の推進の為に、関係機関でのネットワークの強化を図りながら、各種自殺対策に取り組んでいく。 このころの体温計事業を引き続き継続すると共に、ゲートキーパー養成講座については、コロナ対策を徹底し開催をする。 上里町自殺対策計画を策定(見直し)し、自殺対策に係る施策の強化を図る。							
	2-2	地域福祉活動の活性化(総合戦略基本目標4-2)	町民福祉課	地域福祉計画の策定・推進	②概ね順調	民生委員・児童委員の負担軽減を目指すと共に、コロナ禍における活動支援を継続して行う。 地域福祉計画の策定(見直し)を実施する。 ふれあいサロン活動については、コロナ対策を徹底した開催をすると共に、新規サロン開設への呼びかけを行い、サロン数の増加を図る。	数値目標の達成には至らなかったが、施策として効果があった。コロナ禍における活動方法について検討し実施に繋げている。 後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、数値の達成に至らなかった住民のボランティア活動について調査研究し更なる発展を目指すこと。		
	2-3	生活支援の推進	町民福祉課	自殺予防対策の推進(ゲートキーパーの養成、このころの体温計事業)	②概ね順調	計画の推進の為に、関係機関でのネットワークの強化を図りながら、各種自殺対策に取り組んでいく。 このころの体温計事業を引き続き継続すると共に、ゲートキーパー養成講座については、コロナ対策を徹底し開催をする。 上里町自殺対策計画を策定(見直し)し、自殺対策に係る施策の強化を図る。	施策として効果があった。今後も計画に沿って事業を継続し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
	2-4	国民年金の啓発・相談の推進	健康保険課	国民年金事務事業 趣旨普及事業	②概ね順調	年金保険料が未納とならないよう、各種届出の案内や免除・納付猶予制度の利用などに関する説明を適切に行った。 資格取得や変更に関する手続きや、死亡や障害による支給制度の周知、また簡便な納付方法を推奨するなど、被保険者の権利や義務について普及啓発に努める。	施策として効果があった。今後も計画に沿って事業を継続し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
	2-5	低所得者層への支援の充実	町民福祉課	生活福祉資金貸付(社協) 生活困窮者自立支援事業(県)	①順調	生活福祉資金の貸し付けと並行し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方を対象とした「特例貸付」を実施した。 生活困窮者についての相談に応じ、困っていること等を丁寧に聞き取り、自立相談支援機関等との連携の上、相談者に合った支援が出来るように対応した。	生活福祉資金の貸し付け及び生活困窮者への支援について、引き続き関係機関との連携の上、事業を進める。	施策として効果があった。後期基本計画においても事業を継続し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
		子育て共生課	母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付(県)	②概ね順調	県と連携し、貸付の必要な世帯に情報提供をした。	県と連携し、貸付の必要な世帯に情報提供をする。			

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	数値目標				令和3年度 最終目標値 実績値 達成度	備考		
					令和元年度		令和2年度					
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値				
①	2-1	成年後見審判町長申立の利用件数	4件	0件	2件	0件	2件	0件	4件	0件	③未達成(70%未満)	—
②	2-2	ボランティア活動への参加割合	25%	21.5%	参加割合22.5%	19.1%	参加割合23.5%	アンケート未実施	25%	12.9%	③未達成(70%未満)	計画策定時のアンケート調査
③	2-2	助けあいの仕組みができていくと感じる人の割合	35%	29.8%	35%	35.4%	35%	アンケート未実施	35%	31.2%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	計画策定時のアンケート調査
④	2-2	地域支えあいマップ登録者数	700人	595人(平成26年度)	700人	655人	648人	613人	700人	598人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標※ 第2期総合戦の目標値:令和6年度 600人

基本理念1 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
3. 子ども・子育て支援の充実	3-1	母子保健事業等の推進 (総合戦略基本目標3-②)	健康保険課	不妊治療への支援	②概ね順調 不妊治療への助成件数、5歳児健康相談の受診率について、目標を達成できた。3歳6か月児健診の受診率は目標をほぼ達成しているが、令和3年度はわずかに減少している。また、子育て世代包括支援センターとして、子育て共生課と連携を取りながら情報共有し、ケース対応をすることができた。母子手帳交付時や利用者支援相談員が乳児健診において同センターの相談窓口を周知している。	引き続き、不妊治療への支援、赤ちゃん訪問や乳幼児健診等の母子保健事業を推進していく。子育て世代包括支援センターとして、子育て共生課と連携しての体制や事業についても前年度実績を反映し、今後の事業を展開していく。	②概ね順調 関連するすべての数値目標が目標値に達しており、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				妊婦の健康支援(妊婦歯科検診等)					
				家庭訪問・赤ちゃん全戸訪問					
				乳幼児健診・2歳6か月児歯科検診等					
				予防接種					
				教室事業(離乳食教室、親子教室等)					
				相談事業(赤ちゃん相談、発達相談、育児発達全般相談、ことばの相談、うごきの相談、5歳児健康相談等)					
	3-2	就学前教育・保育の充実	子育て共生課	公立保育所の運営	②概ね順調 令和2年度策定の「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に係る取り組みを実施した。	「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に係る取り組みを実施する。	②概ね順調 保育所待機児童数の数値目標は達成に至らなかったが、各事業については、第2期上里町子ども・子育て支援事業計画により実施していることから、施策としてこうかがあった。後期基本計画においても、事業を継続し、数値目標の達成ができるよう、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				私立保育所・幼稚園の運営支援					
				子ども・子育て支援給付					
				各種保育サービス					
				民間施設の人材確保等への支援					
				公立保育所の建設					
				認可保育所、認定こども園の設置					
教育総務課	私立保育所・幼稚園の運営支援	①順調 計画通り町内2幼稚園の運営支援として補助金を交付。補助金 2幼稚園 各46,000円	引き続き、町内2幼稚園の運営支援を行う。補助金 2幼稚園 各46,000円						

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	数値目標									備考
				平成27年度 計画策定時 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度				
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度		
①	3-1	合計特殊出生率	1.25	1.05(平成26年)	1.25	1.10	1.25	1.37	1.25	1.37(最新の数値:令和2年度)	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 1.25	
②	3-1	不妊治療助成件数	累計99件 H27~31: 年13件、 R2.3:年 30件	0件(平成26年度)	累計39件 (年13件)	累計102件 (年38件)	累計69件 (年30件)	累計119件 (年17件)	累計99件	累計148件 (年29件)	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和2~6年度の5年間合計 150件	
③	3-2	保育所待機児童数	0人	20人(平成26年度)	0人	7人	0人	8人	0人	7人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 0人	
④	3-3	児童クラブ待機児童数	0人	26人(平成26年度)	0人	5人	0人	2人	0人	0人	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 0人	
⑤	3-3	地域子育て支援拠点利用者数	4,000人	2,178人(平成26年度)	4,000人	1,338人	4,000人	1,330人	4,000人	1,440人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 2,830人	
⑥	3-1	3歳6か月児健康診査受診率	94%	90.6%	94%	97.3%	94%	90.9%	94%	88.9%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	健やか親子21の目標	
⑦	3-1	5歳児健康相談受診率	88%	85.8%(平成26年度)	88%	89.3%	88%	96.5%	88%	97.3%	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:減少を抑え現在の水準(94%)を維持	

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
3. 子ども・子育て支援の充実	3-3	子育て支援の充実(総合戦略基本目標3-3)	子育て共生課	児童館の運営	②概ね順調 令和2年度策定の「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に係る取り組みを実施した。 「子ども家庭総合支援拠点」の設置に向け要保護児童対策等踏まえ検討した。 また、公共施設再配置計画・維持保全計画に基づき、長幡児童館放課後児童クラブを長幡小学校に移転準備を進めた。 長幡児童館に地域子育て支援拠点事業を開設するために、準備を進めた。	②概ね順調 「第2期上里町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に係る取り組みを実施する。 令和4年4月に「子ども家庭総合支援拠点」を開設し、要保護児童対策を強化する。 令和4年4月に長幡児童館放課後児童クラブを長幡小学校に移転する。 他の放課後児童クラブについても、移転準備を進める。 令和4年4月に長幡児童館に地域子育て支援拠点事業として子育て支援センター「こむぎつちくらぶ」を開設し、子育て支援事業を充実させる。	②概ね順調 地域子育て支援拠点利用者数については、目標の達成に至らなかったが、長幡児童館での拠点事業開設に向けた準備ができたことから、今後の利用者増加に結び付けたいと考えられる。 後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				放課後児童クラブの運営・運営支援					
地域子ども・子育て支援事業(子育て世代包括支援センター、地域子育て支援拠点、ファミリーサポートセンター等)									
各種経済的支援(児童手当等)									
子育て支援ネットワークづくりの支援(「子どもと一緒に遊び隊」の育成等)									
児童虐待等要保護児童対策									
青少年健全育成活動の推進									
			生涯学習課	放課後子ども教室事業	①順調 子どもたちが放課後に異年齢の仲間と安全かつ安心して学習や体験活動、様々な遊びなどを通して交流を図れる居場所づくりを目的とする放課後子ども教室「のびっ子教室」は、全小学校で実施することができた。放課後子ども教室の「ちやれんじクラブ」についても、米づくり体験教室など、実施することができた。子どもの人権研修会は、二つの小学校で開催し人権教育と啓発を推進することができた。	引き続き、放課後子ども教室を実施していくが、ボランティアスタッフであるサポーターの高齢化等により人材確保が課題である。 子どもの人権研修会についても継続していくが、研修で使用する人権DVDの選定と参加者への啓発が課題である。			
			子どもの人権研修会						
3. 子ども・子育て支援の充実	3-4	ひとり親家庭への支援の充実	子育て共生課	各種経済的支援(ひとり親家庭等医療費、児童扶養手当、保育料減額等)	①順調 国等の定める基準に基づき、児童扶養手当等の適正な支給に努めた。また、保育所入所選考や保育料の軽減措置などで優遇を図った。	①順調 該当者の状況の把握に努め、児童扶養手当等各種手当の適正な支給、保育所等入所時の選考優遇など継続して取り組む。	①順調 施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				保育所入所選考等でのポイント加算、町営住宅入居所得制限の緩和					
			まちづくり推進課	保育所入所選考等でのポイント加算、町営住宅入居所得制限の緩和	①順調 町営住宅では、「同居者に小学校就学前の者がいる方」には、入居所得制限の緩和を行っている。 入居予定者の選定では、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に規定する者で、20歳未満の児童を扶養している者」に優先的な措置を講じている。 入居者の収入の算定では、非婚の母(父)についても、寡婦(夫)控除の対象としている(みなし寡婦(夫)控除の適用)。 入居募集時に制度の周知を図り、ひとり親家庭への支援に努める。	①順調 町営住宅では、「同居者に小学校就学前の者がいる方」には、入居所得制限の緩和を行っている。 入居予定者の選定では、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に規定する者で、20歳未満の児童を扶養している者」に優先的な措置を講じている。 入居者の収入の算定では、非婚の母(父)についても、寡婦(夫)控除の対象としている(みなし寡婦(夫)控除の適用)。 入居募集時に制度の周知を図り、ひとり親家庭への支援に努める。			
3. 子ども・子育て支援の充実	3-5	少子化対策の推進	総合政策課	出会い・婚活サポート事業の展開	②概ね順調 県北7市町で構成する北部地域地方創生推進協議会の結婚支援事業部会で婚活イベントを実施した。コロナ禍のため、イベントが未実施の年度もあったが、規模の縮小、新しい生活様式への適合、オンラインの活用等により事業展開を実施した。また、SAITAMA出会いサポートセンターの協賛会員として、町内在住の未婚者への情報発信を実施しており、町民の会員登録数も年々増加している。	②概ね順調 今後も引き続き、関係市町と協力し、魅力的なイベント開催や積極的な情報発信により事業展開をしていく。 SITAMA出会いサポートセンターの町民会員登録数が更に増加となるよう、事業の情報発信に努めていく。	②概ね順調 施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
4. 高齢者福祉・介護の充実	4-1	介護予防の推進(総合戦略基本目標4-2)	高齢者いきいき課	<p>介護予防・日常生活支援総合事業(ケアマネジメントを居宅介護支援事業所に委託することで、必要な方に適切にサービスを提供することができた。サービス提供の際には、高齢者の個別の状況を把握し、状況に応じて、多様なサービスを組み合わせ活用することで自立支援を推進した。</p> <p>・介護予防・日常生活支援総合事業:ケアマネジメントを居宅介護支援事業所に委託することで、必要な方に適切にサービスを提供することができた。サービス提供の際には、高齢者の個別の状況を把握し、状況に応じて、多様なサービスを組み合わせ活用することで自立支援を推進した。</p> <p>・こむぎつちよつから健康体操の普及:リーフレットや町のホームページ、広報などを活用して体操や介護予防の周知啓発を図った。</p> <p>・介護予防サポーターの養成:令和2、3年度ともに、新型コロナウイルス感染症のため、開催を見合わせ目標達成に至らなかった。</p> <p>・こむぎつちよつから健康体操:28地区(52行政区)立ち上がり、目標達成には至っているが、新型コロナウイルス感染症のため、一度全ての地区が中止となった。その後体操が再開できていない地区へは、聞き取りを実施し3年度末までに18地区の再開に繋げることができた。また、再開後には、専門職による支援を実施し、住民主体の介護予防の継続や居場所づくりができた。</p>	<p>・介護予防日常生活支援総合事業の継続</p> <p>・コロナ禍でこむぎつちよつから健康体操の参加者が減少傾向であり、今後サポーターの高齢化により、活動運営が困難となることが懸念される。次世代のサポーターを養成し、現状の体操の課題を分析する。また、参加者が減少傾向である原因を探り、次年度の事業展開に向けて分析を行う。</p> <p>・関係課と連携した高齢者の介護予防の展開</p>	②概ね順調	②概ね順調	数値目標が目標値に達成しており、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
			住民主体の日中の居場所づくりの支援	<p>地域包括支援センター運営事業</p> <p>地域ケア会議の開催</p> <p>在宅医療・介護連携推進事業</p> <p>認知症総合支援事業</p> <p>生活支援体制整備事業</p> <p>高齢者見守りネットワークの構築</p>	<p>高齢者になっても暮らしやすい町づくり「地域包括ケアの推進」を目指して左記の各事業を実施してきた。</p> <p>・地域ケア個別会議において、個別の事例検討を行うことで、自立支援の促進、介護支援専門員の資質向上、関係者のネットワークの構築を図った。また、地域ケア個別会議を通して発見された地域課題について、ケア推進会議を開催し関係者で対応策や改善策を協議し共有することで改善に繋げることができた。</p> <p>・在宅医療・介護連携推進事業では、本庄市、美里町、神川町で共同で本庄市児玉郡医師会と連携し事業推進している。入退院時の連携を重点的に取り組んでおり、課題に対して研修会を実施し理解を深めることができたが、更に連携しやすいように研修会等が必要である。</p> <p>・認知症支援は初期集中支援チームを中心に、早期把握・支援する取組を実施。認知症本人の支援はもとより家族の負担軽減も図ることができた。</p> <p>・生活支援体制整備事業では、令和3年9月に賀美小学校地区の支え合い組織が立ち上がった。社会福祉協議会を中心に立ち上げと運営に関する後方支援を実施し、地域住民が支え合う体制を構築することができた。</p> <p>・令和4年3月23日に高齢者見守りネットワーク会議を開催。警察・消防や見守り協定を締結している民間企業へ出席を依頼し、地域の見守り体制の強化を図ることができた。</p>	②概ね順調	②概ね順調	数値目標である「地域包括支援センターの数」については、目標の達成には至っていないが、既存センターの機能強化による各種事業の実施により、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
					現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	
①		高齢者福祉・介護分野の満足度	30%	22.6%	30%	20.5%	30%	アンケート未実施	30%	21.8%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	計画策定時のアンケート調査
②		自分自身が健康だと感じる高齢者(60歳以上)の割合	80%	74.0%	80%	70.2%	80%	アンケート未実施	80%	79.6%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	計画策定時のアンケート調査
③	4-2	地域包括支援センターの数	累計2か所(ランチ含む)	累計1か所	累計1か所	累計1か所	累計1か所	累計1か所	累計2か所(ランチ含む)	累計1か所	③未達成(70%未満)	・人口2~3万人に1か所が目安・ランチ設置で検討を行ったが、現在の機能を強化した形で1か所を実施する方向性となった。
④	4-2	介護保険給付費に占める居宅サービス費の割合	60.1%	58.0%	59.4%	54.8%	59.8%	54.9%	60.1%	54.5%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	—
⑤	4-2	要介護等認定者のうち軽度者の割合(事業対象者含む)	36.90%	28.3%	36.6%	50.7%	36.0%	50.0%	36.9%	47.9%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の目標
⑥	4-1	元気ちよつからサポーターの数	累計270人	—	150人	233人	270人	累計233人	270人	累計233人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更:こむぎつちよつから体操の参加者数432人
⑦	4-1	こむぎつちよつから健康体操を実行した行政区	30行政区	—	20行政区	28行政区	30行政区	11か所	30行政区	30行政区	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更:こむぎつちよつから体操の参加者数432人
⑧	4-4	老人クラブ活動人数	1,650人	1,758人	1,650人	1,515人	1,650人	1,467人	1,650人	1,441人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の目標
⑨	4-4	シルバー人材センター登録者数	255人	213人(平成26年度時点)	255人	210人	255人	234人	255人	245人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 240人

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
4. 高齢者福祉・介護の充実	4-3	介護保険サービスの充実	高齢者いきいき課	介護保険サービスの給付 県・関係団体等と連携した介護人材の確保の促進	①順調	第7期及び第8期介護保険事業計画に、地域密着型サービス事業所である小規模多機能型居宅介護事業所の整備の推進を盛り込み、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく且つ安全に暮らせるための施設を増設しようと数回公募を行ったが、土地の関係などの理由で選定までには至らなかった。しかし、小規模多機能型居宅介護サービスの必要性を理解してもらった事業所はあった。 介護保険サービスの給付費適正化事業として、要介護認定の適正化やケアプランの点検、住宅改修工事・福祉用具購入の点検、医療情報との突合・縦覧点検、介護給付費通知の5つの重要事項を毎年度実施し、介護給付を必要とする利用者を適切に認定したうえで、利用者が真に必要なとするサービスを、事業者が適切に提供できるよう促した。 令和元年度に介護保険運営協議会を立上げ、介護保険事業計画の策定や進捗状況等の確認を行い、介護保険事業の円滑かつ適切な運営を図ることができた。 また、第8期介護保険事業計画において、介護人材のすそ野拡大のための施策として、入門的研修などの介護分野への参入支援及び元気高齢者へのセミナー実施等を盛り込み、令和3年度に入門的研修実施事業を令和4年度に実施する準備をした。	介護保険サービスの給付適正化事業の継続実施と併せて、介護保険制度の健全な運営を行うための随時認定調査票の内容点検を実施し、介護給付を真に必要なとする利用者を適切に認定していく。 一般高齢者や要介護認定者、介護サービス事業者等を対象としたニーズ調査及び実態調査を実施し、介護保険運営協議会を開催し審議・検討を行い、第9期介護保険事業計画の策定を行う。 小規模多機能型居宅介護事業所の必要性を再検討し、第9期介護保険事業計画においての整備推進も再検討する。 令和4年度に対象者を児玉郡市に広げた入門的研修を実施予定。定員の約7割の参加者及び2人位の介護事業所への就労を目指す。また、元気高齢者へのセミナー開催の検証に着手する。	①順調	数値目標である高齢者福祉・介護分野の満足度はほぼ達成であるが、順調に事業が実施できており、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	4-4	高齢者福祉の充実	高齢者いきいき課	老人福祉センターの運営 老人クラブ活動補助事業 シルバー人材センター運営補助事業 老人福祉・生きがい事業	②概ね順調	老人福祉センターかみさと荘の運営については、平成30年度より指定管理者の自主事業として「ふれあいカフェ」を開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者の増加にはつながらなかった。そして、指定管理者業務委託の期間満了且つ施設劣化及び利用者減少、保健センター等との複合化計画を鑑みて、令和3年度から複合化までの間休館とし、今まで担ってきた「高齢者の憩いの場」としての役割を各地区公民館などの地域資源で行う支援を行った。 老人クラブの活動補助については、平成31年度に愛称の募集を支援し、「上里町いきいきクラブ」に決定したが、残念ながら会員数の増加にはつながらなかった。また、新型コロナウイルス感染症の影響から、イベントの中止や縮小開催が続く、活動は全体的に低調になったが、令和2年度は各単位クラブによる会員の見守り訪問や電話による友愛活動を実施し、会員の日常の様子の確認を行い、令和3年度は規模を縮小したグラウンドゴルフ及び連合大会大会を実施し、高齢者の生きがいづくりの場の提供を支援した。 シルバー人材センター運営補助については、健康で活動意欲のある高齢者に対し、働く場や機会を拡充するため、上里町シルバー人材センターが安定的に運営できるよう補助金を交付した。また、令和3年度より実施した広報活動の一つとして、定期的に「お仕事説明会」の記事を奇数月の町広報誌に内容を変更しながら掲載したことは、シルバー人材センターの地道な勧誘活動と併せて、高齢者の地域社会の参加の場としてのシルバー人材センターの活性化を図るために必要な登録人数の増加に至った手段として非常に有効だった。 老人福祉・生きがい事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に敬老祝金が口座振込に変更され、令和3年度にはプラチナ婚・ダイヤモンド婚・金婚式祝いの式典が中止となったが、令和2年9月から歩行困難等により「こむぎっちゃん」が利用できない高齢者のためにタクシーの利用料金を助成する「高齢者お出かけサポート助成事業」を実施し、高齢者の外出を支援し、地域での社会活動への参画を促した。	老人福祉センターかみさと荘の休館により、今後は個人の選択による地区公民館などの既存の社会資源の活用を支援するなど時代の変化を捉えた高齢者支援策に取り組んでいく必要がある。 老人クラブについては、価値観の多様化から加入者の減少傾向が続いており、今後は老人クラブが主体の加入者が増加するような魅力的な事業を開催する支援が必要。また、新型コロナウイルス感染症の流行状況を見定めながら、今後実施する事業の内容や時期を考える必要がある。 シルバー人材センターについては、高齢者の生きがいづくりの場としてさらに活性化を図るために、協力及び助言・指導等を行う。 上里町の公共交通の補完的かつ試験的な事業となっている高齢者お出かけサポート助成事業の現在の利用者が少ないため、内容の見直しが必要。	②概ね順調	施策に対する数値目標については、ほぼ達成に留まっているが、事業実施はできていることから、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

基本理念1 健やかで安心なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
5. 障害者(児)福祉の充実	5-1	障害者支援の理念の啓発	町民福祉課	授産製品等の優先調達 障害者の一般就労の促進 障害者虐待防止センターの運営	②概ね順調	授産製品等の優先調達の推進を始めとし、障害者支援については、概ね順調に取り組むことが出来た。	制度の周知を図り、引き続き障害者支援を推進していく共に、必要に応じて取り組み方法を工夫していく。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	5-2	障害福祉サービスの充実	町民福祉課	障害福祉サービス(自立支援給付・地域生活支援事業) 児玉郡市障害者就労支援センター事業 障害児通所支援(児童発達支援・放課後等デイサービス等) 児玉郡市地域自立支援協議会の運営	①順調	障害者福祉サービス、障害者就労支援センター事業、障害児通所支援等、様々なサービスの提供に努めることが出来た。	地域で自立した生活を継続していくことが出来る様、状況に合わせたサービス提供に努める。より充実したサービスの提供が出来るように相談支援体制等の強化をしていく。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
5. 障害者(児)福祉の充実	5-3	生活支援の推進	町民福祉課	各種支援事業(重度心身障害者医療費、在宅重度心身障害者手当等)	①順調	順調に取り組むことが出来た。制度の周知に努め、対象となる方へは迅速に対応することが出来た。	障害者(児)や介護者等、生活支援等が必要な方へ、迅速できめ細やかな支援を実施していく。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
①	5-1	障害者就労施設等から物品等の調達金額	累計240万円	6万円	累計180万円	累計3,581,780円(年2,397,700円)	累計240万円	累計4,217,705円(年635,925円)	累計240万円	累計4,551,005円(年333,300円)	①大きく達成(100%以上)	—
②	5-1	就労移行支援事業により福祉的就労から一般就労に移行した人数	累計10人	2人	累計8人	累計9人(年4人)	累計10人	累計11人(年2人)	累計10人	累計16人(年5人)	①大きく達成(100%以上)	—

基本理念2. 快適で安全なまち

基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
6. 都市基盤の充実	6-1	道路・橋りょうの整備・維持管理	道路整備課	児玉工業団地アクセス道路新設事業	①順調	児玉工業団地アクセス道路新設事業においては、用地取得率が99.9%に止まっているものの、工事の進捗は順調に図れている。橋りょう維持補修事業においては、完了した。	児玉工業団地アクセス道路新設事業においては、残り1件の用地交渉を引き続き行い、工事の進捗を図る。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				橋りょう維持補修事業					
	6-2	都市計画の推進	まちづくり推進課	都市計画マスタープランの推進	①順調	都市計画マスタープランの推進とともに、土地の適正利用に努めた。令和元年～3年の3か年でコンパクトで持続可能な都市構造の形成を目指す立地適正化計画を策定した。	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の推進とともに、土地の適正利用に努める。また、神保原駅北まちづくりについても同計画やその他関係計画との整合を図り進めていく。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				開発行為指導要綱の適正な運用					
				各種都市計画手法の検討					
	6-3	地域公共交通対策の充実(総合戦略基本目標4-4)	総合政策課	上里町コミュニティバス「こむぎっちゃん」運行事業	③やや不調	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、利用者数はコロナ以前の数値に達していない。上里町地域公共交通活性化協議会で令和2年3月に策定した「上里町地域公共交通網形成計画」にも基づき、事業実施をした。	「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、事業実施をしていく。一般路線バスの運行支援についても継続実施していく。	②概ね順調	数値目標の達成には至っていないが、各事業の取組状況については順調に実施できており、コミュニティバスについても、令和3年度にはコロナによる利用者減少からの回復が見られてきたことから、施策として効果があった。交通協議会において、引き続き利用者増加策を検討すること。また、他の交通施策についても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
生活バス路線運行支援事業									
高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会への参画									
駅北コミュニティ広場管理運営事業									
6-4	安全な歩行空間の整備	生涯学習課	こむぎっちゃんウォーキングコースの設定	①順調	平成26～29年度にかけて、6コースのこむぎっちゃんウォーキングコースが設定された。	コース内の歩道等の整備について、引き続き道路整備課と調整を行う。	①順調	施策として効果があった。引き続き事業を継続し、更なる施策の発展を目指すこと。	
			道路整備課						安全な歩行空間の整備

数値目標												備考	
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度				
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度		
①	6-2	地区計画の導入数	3以上	2	3以上	3	3以上	3	3以上	3	3	①大きく達成(100%以上)	—
②	6-1	児玉工業団地アクセス道路用地の取得割合	100%	5.37%	80%	76.3%	90%	95.0%	100%	99.9%	100%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	児玉工業団地アクセス道路事業計画の目標
③	6-1	橋りょう維持補修の進捗率	100%	2.3%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	①大きく達成(100%以上)	上里町橋梁長寿命化修繕計画の目標
④	6-3	神保原駅の1日当たり乗車人員	2,900人	2,822人	2,600人	2,799人	2,800人	1,977人	2,900人	2,200人	2,900人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	1～12月
⑤	6-3	コミュニティバス年間利用者数	31,000人	10,931人(平成26年度)	31,000人	16,018人	31,000人	11,781人	31,000人	14,178人	31,000人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標が変更:町営公共交通年間利用者数 22,300人

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
7. 情報基盤・発信力の強化	7-1	快適で安全な情報利用の推進	総合政策課	公共Wi-Fi環境の整備 情報セキュリティの強靱化	①順調	公共施設10か所に公共Wi-Fi環境を整備し運用を行った。平成28年度に実施した自治体情報セキュリティ強化対策(インターネット分離)から5年が経過したため、令和4年度の機器更新及び更なる強化対策に向けた検討を行い、予算要求を行った。	公共Wi-Fi環境の安全性を確保し、安定的運用を図る。災害時の有効的な活用方法を検討する他、住民周知・利用状況調査等を実施する。必要に応じて設置箇所拡大を検討する。情報セキュリティ強化機器等の更新を実施し、情報セキュリティ及び利便性の向上を図る。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	総務課	個人情報保護の強化	①順調	問題となる事案もなく、個人情報保護は正常に保護されており、情報公開などの情報利用も順調に進められている。	引き続き、個人情報の厳格な保護と、情報利用の推進を図る。				
7. 情報基盤・発信力の強化	7-2	情報発信の多元化と強化(総合戦略基本目標2-1)	総合政策課	オープンデータ化事業	①順調	国の推奨データセット、埼玉県の共通データセットを保有する各課へ、データセットの提供依頼を実施し、収集したデータセットを「埼玉県オープンデータポータルサイト」へアップ(公開)を行った。町が保有する地図情報をインターネット上で公開する「上里町地図情報システム」の運用を開始した。	「埼玉県オープンデータポータルサイト」及び「上里町地図情報システム」で公開している情報の最新化を行うとともに、新たなデータの公開を検討する。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	総務課	i広報紙発行事業 シティプロモーション事業	②概ね順調	現在、広報紙はホームページで見られるほか、マチイロでダウンロードできる。アプリを登録している人は、通知が届くほか他市町村の広報紙もチェックできるため、登録者数はR2年度484件から、R3年度966件に増加している。	引き続き、町の情報発信の中心である「広報かみさと」を「マチイロ」アプリなどを使い、多角的に情報発信していく。				
7. 情報基盤・発信力の強化	7-3	行政内部の情報化の推進	総合政策課	情報セキュリティ研修の実施 マイナンバー多目的利用の推進	②概ね順調	新入職員向け情報セキュリティ研修、職員向け情報セキュリティ研修(eラーニングを含む)を実施した。諸証明書のコンビニ交付の令和4年度導入に向けた検討を実施した。	情報セキュリティ研修を実施する。上里町DX推進計画を策定し、計画に沿った情報システムの整備・情報施策を実施する。諸証明書のコンビに交付サービスを導入し、運用を開始する。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
			町民福祉課	マイナンバー多目的利用の推進					

数値目標													
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考	
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度		
①	7-1	公共Wi-Fiスポットの新設か所数	10か所	-	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所	①大きく達成(100%以上)	-
②	7-2	オープンデータ化項目件数	20項目	-	15項目	0項目	18項目	14項目	20項目	21項目	21項目	①大きく達成(100%以上)	-
③	7-3	マイナンバーカード申請割合	30%	7.86%	16%	15.00%	18%	31.70%	30%	41.20%	41.20%	①大きく達成(100%以上)	-
④	7-2	ホームページ年間アクセス数	250,000件	84,000件(平成26年度)	96,000人	137,150件	165,000件	483,085件	250,000件	544,072件	544,072件	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:ホームページ年間閲覧数250,000件/年
⑤	7-2	SNS登録者数	730人	372人(平成26年度)	600人	653人	690人	676人	730人	4,130人	4,130人	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:「SNS等登録者数」令和6年度 4,000人
⑥	7-2	i広報紙アプリ登録者数	390件	-	230件	376件	390件	484件	390件	966件	966件	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和6年度 累計1,000件

基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
8. 環境保全の推進	8-1	環境保全の推進	総務課	全町一斉清掃事業	①順調	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施は出来なかったが、令和3年度は、新しい生活様式を取り入れた清掃事業を実施することができた。マナー向上や、普段からの美化の取り組みも進み、年々ごみの量は減ってきている。	新しい生活様式を取り入れ「クリーンの日」を実施し、マナー向上や、普段からの美化の取り組みが進むよう、意識の向上を図っていく。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				環境にやさしい農業推進事業	①順調	町独自の事業に加え、国庫補助事業を活用した減農薬栽培の促進など、安全安心な農作物作り、環境に配慮した持続可能な農業経営に効果があった。	みどりの食料システムにおいても環境保全型農業の推進目標が掲げられていることから、上里町においても、より発展的な取組を図る。		
				環境保全型農業直接支援対策事業	①順調	町独自の事業に加え、国庫補助事業を活用した減農薬栽培の促進など、安全安心な農作物作り、環境に配慮した持続可能な農業経営に効果があった。	みどりの食料システムにおいても環境保全型農業の推進目標が掲げられていることから、上里町においても、より発展的な取組を図る。		
			くらし安全課	河川等の水質検査	②概ね順調	河川の水質調査・大気汚染調査を実施した。また、環境基本法に基づき、7公害の苦情処理及び指導を実施した。	環境保全意識の向上を図りつつ、継続して実施する。		
				公害等対策事業	②概ね順調	河川の水質調査・大気汚染調査を実施した。また、環境基本法に基づき、7公害の苦情処理及び指導を実施した。	環境保全意識の向上を図りつつ、継続して実施する。		
				児玉郡市広域市町村圏組合斎場こだま聖苑の運営	②概ね順調	河川の水質調査・大気汚染調査を実施した。また、環境基本法に基づき、7公害の苦情処理及び指導を実施した。	環境保全意識の向上を図りつつ、継続して実施する。		
	8-2	適切なごみ処理の推進	くらし安全課	リサイクル活動の奨励	②概ね順調	小型家電の回収事業やリサイクル活動団体への補助を行い、適切なごみ処理の推進を図った。また、ごみの量やごみ減量化の取り組みをアプリやホームページ、広報などを活用し、町民に対し啓発を行った。	ごみ減量化の取り組みを環境講座などを行い啓発するとともに、分別収集の徹底、家電や廃プラスチックの適正処理の推進など、再利用・再生利用の取り組みを推進する。また、広域等と連携しながら、プラスチックごみの分別収集や処理施設の適切な維持管理に努める。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				一般廃棄物収集・運搬業務	②概ね順調	小型家電の回収事業やリサイクル活動団体への補助を行い、適切なごみ処理の推進を図った。また、ごみの量やごみ減量化の取り組みをアプリやホームページ、広報などを活用し、町民に対し啓発を行った。	ごみ減量化の取り組みを環境講座などを行い啓発するとともに、分別収集の徹底、家電や廃プラスチックの適正処理の推進など、再利用・再生利用の取り組みを推進する。また、広域等と連携しながら、プラスチックごみの分別収集や処理施設の適切な維持管理に努める。		
				児玉郡市広域市町村圏組合での処理施設の運営	②概ね順調	小型家電の回収事業やリサイクル活動団体への補助を行い、適切なごみ処理の推進を図った。また、ごみの量やごみ減量化の取り組みをアプリやホームページ、広報などを活用し、町民に対し啓発を行った。	ごみ減量化の取り組みを環境講座などを行い啓発するとともに、分別収集の徹底、家電や廃プラスチックの適正処理の推進など、再利用・再生利用の取り組みを推進する。また、広域等と連携しながら、プラスチックごみの分別収集や処理施設の適切な維持管理に努める。		
	8-3	生活排水処理対策の推進	上下水道課	公共下水道事業整備の促進	②概ね順調	公共下水道事業整備は計画に基づき実施している。下水道への接続の推進は、令和2年度からはコロナ禍によって接続相談会や戸別訪問による啓発活動等を計画していましたが開催することが出来なかったが、毎年、約50件の申請件数で推移している。	引き続き計画に基づき公共下水道整備を推進して行く。コロナ禍の状況をみながら接続促進策を実施し、接続率の向上に努める。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				公共下水道事業接続の推進	②概ね順調	下水道全体計画を457haから279haに縮小し、全体計画区域と認可面積を一致させる。今年度より、農業集落排水事業公営企業会計への移行を行っていく。	引き続き農業集落排水処理施設の維持管理は外部委託を行い、適正な管理を行っていく。		
				農業集落排水処理施設水質維持管理	②概ね順調	下水道全体計画見直しに伴う都市計画審議会及び地元説明会を行い、認可区域を駅南まで広げた。	引き続き農業集落排水処理施設の維持管理は外部委託を行い、適正な管理を行っていく。		
くらし安全課			合併処理浄化槽設置促進事業	②概ね順調	生活排水の適正な処理を図り、環境保全の推進に努めるため、合併浄化槽設置事業への補助事業を実施した。	生活排水の適正な処理を図り、環境保全の推進に努めるため、引き続き、合併浄化槽設置事業への補助事業を行う。			
			合併処理浄化槽法定検査受検率向上の啓発	②概ね順調	生活排水の適正な処理を図り、環境保全の推進に努めるため、合併浄化槽設置事業への補助事業を実施した。	生活排水の適正な処理を図り、環境保全の推進に努めるため、引き続き、合併浄化槽設置事業への補助事業を行う。			
			合併処理浄化槽設置促進事業	②概ね順調	生活排水の適正な処理を図り、環境保全の推進に努めるため、合併浄化槽設置事業への補助事業を実施した。	生活排水の適正な処理を図り、環境保全の推進に努めるため、引き続き、合併浄化槽設置事業への補助事業を行う。			
8-4	多様なエネルギーの活用	くらし安全課	地球温暖化防止実行計画の策定・推進	②概ね順調	令和3年度に、第2次上里町環境基本計画の中間見直しを行い、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)・地域気候変動適応計画を包括し策定。	地球温暖化対策の削減目標の達成を目指し、環境講座等を通じ、住民の環境への意識向上を図り、望ましい環境像の実現に向けて取組を推進する。また、公共施設においても、省エネ型設備等の設備・機器の導入に努めている。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
			新・省エネルギー機器の設置促進	②概ね順調	令和3年度に、第2次上里町環境基本計画の中間見直しを行い、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)・地域気候変動適応計画を包括し策定。	地球温暖化対策の削減目標の達成を目指し、環境講座等を通じ、住民の環境への意識向上を図り、望ましい環境像の実現に向けて取組を推進する。また、公共施設においても、省エネ型設備等の設備・機器の導入に努めている。			

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
①	8-2	1人1日あたりごみ排出量	902g以下	980g	928g以下	946g	915g以下	965g	902g以下	922g(速報値)	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	一般廃棄物処理基本計画の目標
②	8-2	資源化率	23.4%	20.0%	22.2%	18.3%	22.8%	17.1%	23.4%	17.1%(速報値)	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	一般廃棄物処理基本計画の目標
③	8-3	生活排水処理人口	26,374人	22,950人(平成26年度)	25,686人	22,965人	26,374人	22,988人	26,374人	23,323人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	生活排水処理基本計画の目標
④	8-4	公共部門の温室効果ガス排出量	451t/年	509t/年(平成26年基準排出量)	478.676t	321.637t	469.102t	335.721t	451t	343.288t	①大きく達成(100%以上)	地球温暖化対策実行計画の目標

基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価		数値目標												
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見	番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
															年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
9. 快適な住環境の確保	9-1	町営住宅の維持管理	まちづくり推進課	町営住宅の管理・運営	①順調	適切な維持管理や運営事務を行い、町営住宅の適正な管理・運営に努めた。また、町営住宅の計画的な維持管理・改修計画を実施するため、長寿命化計画を策定した。	公共施設再配置総合管理計画、上里町営住宅長寿命化計画に基づき改修等の施工に努める。 適切な維持管理や運営事務に努める。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	①	9-2	上里町が「住みよい」と思う住民の割合	53%	26.4%	42.4%	79.7%	53%	アンケート未実施	53%	25.1%	③未達成(70%未満)	計画策定時のアンケート調査
				町営住宅長寿命化計画の策定																		
				町営住宅の改修等の実施																		
	9-2	魅力ある住生活の確保(総合戦略基本目標2-3)	産業振興課	住宅リフォームの支援	①順調	町内専用商品券を活用した町内のリフォーム需要の掘起こしにより、町内商工業の発展に寄与することが出来た。令和3年度には予算の増額も行っている。	施策として大きな効果があったため、今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指していきたい。	②概ね順調	順調に実施できている事業については、引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。 利活用された空き家数の数値目標について、達成に至らなかったが、空き家バンクが空き家解消の一役を担っている。今後は、空き家バンクの運用等により、空き家の利活用について引き続き検討を進めること。 安定した住生活提供のため、引き続き「公営住宅長寿命計画」や「建築物耐震改修促進計画」等の住宅施策に関する個別計画を推進すること。	②	9-2	利活用された空き家数	累計7件	—	累計5軒	累計1軒	累計6件	累計1件	累計7件	累計2件	③未達成(70%未満)	—
					②概ね順調	空き家バンクを通じて成約された物件もあり、空き家の解消に一定の効果はあったものと考えられる。	空き家バンクの運用を継続して実施しながら、利活用については関係課と連携して管理不全空き家の解消に努める。															
					②概ね順調	移住促進策として、空き家のハウスクリーニング補助事業を実施した。(事業予定期間:令和2~6年度)令和2~3年度は、実績数1件であり数値目標に届いていない状況である。	「上里町空き家利活用推進事業補助金」の継続については、令和4年度実績や「埼玉空き家バンク」の登録状況を加味し、より移住促進策として有効な制度を検討する必要があると考える。新制度についての検討の際は、予算規模や効果について研究したい。															
9-2	魅力ある住生活の確保(総合戦略基本目標2-3)	総合政策課	定住促進奨励金制度の創設・運用	②概ね順調	移住促進策として、空き家のハウスクリーニング補助事業を実施した。(事業予定期間:令和2~6年度)令和2~3年度は、実績数1件であり数値目標に届いていない状況である。	「上里町空き家利活用推進事業補助金」の継続については、令和4年度実績や「埼玉空き家バンク」の登録状況を加味し、より移住促進策として有効な制度を検討する必要があると考える。新制度についての検討の際は、予算規模や効果について研究したい。	②概ね順調	安定した住生活提供のため、引き続き「公営住宅長寿命計画」や「建築物耐震改修促進計画」等の住宅施策に関する個別計画を推進すること。	③	9-1	町営住宅の長寿命化計画の策定	計画策定	—	—	—	計画策定	策定済	計画策定	策定済	①大きく達成(100%以上)	—	
			まちづくり推進課	住生活基本計画の策定	②概ね順調	住宅政策として、「空き家対策意向調査」、「上里町建築物耐震改修促進計画の改定」を実施した。住生活基本系計画の策定について検討するため、令和3年度中に関係各課の持つ個別計画の確認及び各課との協議を行った。																埼玉県住生活基本計画を基に町の各別計画において住環境の記載があることから、町独自の住生活基本計画は策定を見送る。

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
9. 快適な住環境の確保	9-3	水道の安定供給	上下水道課	上水道事業料金未納対策	②概ね順調 水道料金の未納対策、並びに浄水場管理は外部委託を行っており、いずれも良好な結果であった。町内浄水場の耐震診断を実施した結果、土木、建築共に「補強は不要」との報告。配水管の耐震化については、民地内「老朽化更新事業」のみを実施した。料金改定については審議会を開催し、改定時期を令和4年10月とした。有収率は目標値を達成となったが、向上の為の更なる対策が必要である。	水道の安定供給に向け、前年度から継続する事業の他、「第2期浄水場更新工事(5か年工事)」に基づき、全体設計を進めながら、今後は配水管の更新設計と耐震化を推進していく。有収率についても、改善に向け、向上を図っていく。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
				上水道事業配水管耐震化促進					
				上水道事業水質保全管理					
				上水道事業有収率改善					
9. 快適な住環境の確保	9-4	公園・緑地の充実	産業振興課	農村公園の整備	①順調	農村公園にはアグリパーク上里が開設され、週末等は町の観光拠点として賑わいを見せている。	JAや商工会、周辺事業者と連携し、農業体験ゾーンの活用等、このはなパークのポテンシャルを活かした産業観光事業を展開していく。	②概ね順調	撤去すべき危険遊具数は目標値に届いていないが、施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
			まちづくり推進課	烏川・神流川総合運動公園の魅力化	①順調	烏川・神流川総合運動公園内の忍保パブリック公園は除草回数を増やすなど、公園の適切な維持管理に努めた。上里ゴルフ場は来客数が年々増加傾向にある。老朽化する遊具等について、定期点検を実施し、使用にあたり危険性が高い遊具を優先して撤去、改修等を行った。	烏川・神流川総合運動公園内の遊具広場や公園の適切な維持管理に努める。公園施設長寿命化計画を策定し、公園遊具等の定期点検、危険遊具の解消を目指し、改築・撤去・修繕等を行う。		
		まちづくり推進課		老朽化する遊具等の修繕・撤去と代替遊具の設置検討	①順調	烏川・神流川総合運動公園内の忍保パブリック公園は除草回数を増やすなど、公園の適切な維持管理に努めた。上里ゴルフ場は来客数が年々増加傾向にある。老朽化する遊具等について、定期点検を実施し、使用にあたり危険性が高い遊具を優先して撤去、改修等を行った。	烏川・神流川総合運動公園内の遊具広場や公園の適切な維持管理に努める。公園施設長寿命化計画を策定し、公園遊具等の定期点検、危険遊具の解消を目指し、改築・撤去・修繕等を行う。		
			老朽化する遊具等の修繕・撤去と代替遊具の設置検討	①順調	烏川・神流川総合運動公園内の忍保パブリック公園は除草回数を増やすなど、公園の適切な維持管理に努めた。上里ゴルフ場は来客数が年々増加傾向にある。老朽化する遊具等について、定期点検を実施し、使用にあたり危険性が高い遊具を優先して撤去、改修等を行った。	烏川・神流川総合運動公園内の遊具広場や公園の適切な維持管理に努める。公園施設長寿命化計画を策定し、公園遊具等の定期点検、危険遊具の解消を目指し、改築・撤去・修繕等を行う。			

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
④	9-3	水道の有収率	82%	78.36%	80.2%	82.0%	82.0%	82.0%	82%	82.6%	①大きく達成(100%以上)	水道ビジョンの平成42年目標から算出
⑤	9-4	公園の満足度	37%	18.4%	18.4%	20.5%	25.0%	アンケート未実施	37%	22.1%	③未達成(70%未満)	計画策定時のアンケート調査
⑥	9-4	危険遊具数	0基	130基	52基	70基	39基	67基	0基	0基	①大きく達成(100%以上)	5カ年で危険遊具を解消 ※撤去数:94基、点検及び修繕済み数:36基

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
10. 消防・防災の強化	10-1	消防・救急体制の維持・強化	くらし安全課	消防団運営事業(新入団員研修・各種幹部科研修)	①順調	消火活動に必要な訓練だけでなく、水防工法や障害物除去訓練など、近年全国で多発激甚化している自然災害に対応するため、様々な訓練の実施を通して知識と技術の習得に努めた。	全国で減少傾向にある消防団員の定数確保に努めるとともに、老朽化した車両や資機材の更新を行うことで、消防力の維持・強化を図る。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				女性消防団員の養成					
				消防施設整備事業					
	10-2	地域防災体制の強化(総合戦略基本目標4-1、4-3)	くらし安全課	自主防災組織の強化	②概ね順調	自主防災組織の活動を支援するため、あらたな補助金制度を創設し、新規設立を促進した。上里町女性会議やSALAなど、避難所運営に必要となる女性の視点を取り入れるため、様々な団体を対象にハザードマップの周知を図る講習会と避難所開設体験を複合的に実施した。	自助・共助の取り組みを促進するため、自主防災組織の新規設立を継続して促進するとともに、既存の自主防災組織と連携した避難所開設訓練を実施する。そのほか、防災フェスティバルや防災講習会を通じて住民の防災意識向上を図り、地域防災力向上に資する取り組みを推進する。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				防災フェスティバル・防災講座等による意識啓発					
				防災訓練の推進(職員参集訓練・図上訓練・地区別訓練等)					
				防災行政無線のデジタル化					
				国民保護の推進					
	10-2	町民福祉課	災害時要配慮者登録の強化	①順調	地域支え合いマップの更新作業を実施し、各地区の民生委員・児童委員及び区長への情報共有を実施した。令和2年度からは、『避難行動要支援者名簿』の整備に努め、名簿に登録のある障害者や要介護認定者に対し、『個別避難計画』の作成を実施した。	障害者や要介護認定者、地域支え合いマップ登録者を含む『避難行動要支援者名簿』の更新・整備を継続する。名簿登録者の『個別避難計画』について、より多くの方の個別計画の作成を推進する。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
			まちづくり推進課	予防対策事業の推進	②概ね順調	「第3期上里町建築物耐震改修促進計画」を改訂し、令和3年3月失効予定であった「木造住宅耐震診断補助金」「木造住宅耐震改修補助金」を令和8年3月まで延長することとし、予防対策事業を推進する。	「第3期上里町建築物耐震改修促進計画」に基づき、一般住宅(昭和56年以前の建築)耐震診断、耐震改修補助事業を継続実施する。	②概ね順調	「第3期上里町建築物耐震改修促進計画」に基づき、一般住宅(昭和56年以前の建築)耐震診断、耐震改修補助事業を継続実施する。
10-3	業務継続計画の運用	くらし安全課	業務継続計画(BCP)の改訂	①順調	災害発生時に備え、配備職員名簿及び職員参集時間の更新を行った。業務継続計画に基づき、職員研修を実施し、知識の習得と防災意識向上を図った。令和3年度からは、新たに新規採用職員に対する防災研修を追加して実施した。	定期的な配備職員名簿及び職員参集時間の更新を実施するとともに、研修・訓練内容の充実を図ることで、マンネリ化を防止し、実効性のあるものを実施していく。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
			業務継続計画(BCP)に基づく職員研修等の推進						

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
①	10-1	火災発生件数	10件以内(5力年平均)	12.3件(平成24~26年平均)	10件以下	6件(年平均9.6件)	10件以下	6件	10件以下(5か年平均)	6件	①大きく達成(100%以上)	—
②	10-1	女性消防団員の割合	5%	0%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	5%	3.6%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	—
③	10-2	自主防災組織モデル地区数	4地区	—	4地区	4地区	4地区	5地区	4地区	5地区	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度 6地区
④	10-2	災害による死傷者数	累計0人	—	累計0人	累計0人	累計0人	累計0人	累計0人	累計0人	①大きく達成(100%以上)	—
⑤	10-2	防災メール登録件数	4,600件	1,251件(平成26年度)	2,500件	4,045件	4,500件	4,817件	4,600件	5,091件	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度 5,000人

基本理念2 快適で安全なまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
11. 防犯・交通安全対策の強化	11-1	地域防犯活動の推進(総合戦略基本目標4-1)	くらし安全課	防犯灯・防犯カメラ等の設置・維持管理	②概ね順調	防犯カメラ設置の推進や警察官OBIによる町内巡回パトロールのほか、防災行政無線を活用した犯罪に関する注意喚起など、警察と連携した取り組みを実施した。	特殊詐欺に代表されるように、近年の巧妙化した犯罪による被害を防止するため、警察と連携した犯罪抑止対策を推進する。	②概ね順調	消費生活に関する講座の受講者数は目標値に届いていないが、施策として効果があった。今後も事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				防犯まちづくり事業					
			産業振興課	消費生活対策事業	②概ね順調	県、本庄市との連携した消費生活相談や、町広報紙への啓発記事の掲載により、消費者被害の未然防止を図った。令和2年11月には消費者安全確保地域協議会(上里町高齢者見守りネットワーク会議の機能拡充)を設置し、高齢者被害防止対策を強化した。	高齢者等を狙った特殊詐欺が巧妙化する中、相談に繋がらない被害者も多くいるものと推定されることから、出前講座や町広報等を活用した情報提供を展開していく。		
	11-2	交通安全対策の推進(総合戦略基本目標4-1)	くらし安全課	交通安全教育・啓発の推進	①順調	交通安全教育として、町内全小学校を対象とした交通安全教室や自転車免許試験を実施。交通事故を防止するため、警察及び道路管理者等と協議し、町道上の交通安全施設の整備(道路反射鏡や道路区画線及び道路照明灯・防犯灯の設置・補修)を実施。	交通事故は減少傾向にあるものの、埼玉県内での交通事故発生率は高い状況であるため、交通事故減少の取組を継続して行っていく。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
小学生自転車運転免許事業									
交通安全指導員による交通指導等									
交通災害共済加入の促進									
交通安全施策の設置・補修									

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
①	11-1	年間犯罪率(人口1,000人あたり)	8	9.59(平成26年)	8	8.4	8	7.6	8	6.6	①大きく達成(100%以上)	—
②	11-1	防犯パトロール隊の数	30団体	26団体	27団体	30団体	30団体	30団体	30団体	30団体	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では目標が変更。町内パトロール隊数減少を抑え現在(30隊)の水準を維持
③	11-1	消費生活に関する関係機関等からの相談件数	10件	8件	10件	8件	10件	5件	10件	9件	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	—
④	11-1	消費生活に関する講座の受講者数	1,100人	1,030人	1,080人	670人	1,090人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	1,100人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	未実施	年10人増をめざす
⑤	11-2	交通人身事故発生件数	178件	212件(平成22~27年平均)	185件	135件	181件	83件	178件	77件	①大きく達成(100%以上)	年2%削減をめざす 上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度 147件以下

基本理念3. 実り豊かなまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
12. 農業の振興	12-1	担い手の確保 (総合戦略基本目標1-2)	産業振興課	担い手育成支援事業	①順調	農業次世代人材投資資金を活用し次世代の担い手の確保を図るとともに、農林振興センター、農協、農業委員会と連携し、認定農業者経営計画策定支援等、包括的な経営支援を行った。小麦栽培体験教室などを通じ、農業への興味理解の醸成を図った。	国の制度である農業次世代人材投資資金の適切により担い手の確保を図る。高齢化に伴う経営体の減少が見込まれることから、経営拡大意向のある農業者に対する支援の強化に努める。また、小麦栽培体験教室など農業理解への取組は継続する。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				認定農業者支援事業					
				小麦栽培体験教室					
	12-2	農地の有効活用	産業振興課	農地中間管理事業	②概ね順調	・農地中間管理事業については、計画どおり実施した。 ・遊休農地については、策定時の現状値から見ると微増だが、平成30年度からは徐々に減少した。 ・農地バンクは、貸付者と借受者の意向把握及び調整を行い、利用権設定に結びつけた。	・農地中間管理事業は、引き続き対象地区を定めて実施する。 ・遊休農地は、中核的担い手農家育成事業を活用し、解消に向けて推進する。 ・耕作放棄地にならないよう、農地バンク制度の周知を図り、貸付希望の農地を把握し、借受希望者への転賃を図る。	②概ね順調	一部目標値に届いていないが、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				中核的担い手農家育成奨励金交付事業					
				農業委員会農地バンク制度					
	12-3	生産基盤の強化と経営の安定化の促進	産業振興課	経営所得安定対策の推進	②概ね順調	・経営所得安定対策 農協、農業共済、農林振興センターと連携し、農業者の経営安定に資するよう、制度を運営した。 ・安定した施設の維持管理に資するため積立を行うことができた。 ・多面的機能支払交付金 地域の活動組織に対して補助金を交付し活動を支援した。	・経営所得安定対策により水田活用の最大化にむけ制度の推進に努める。 ・土地改良区の維持管理費積立金年間予算額の積立を実施していく。 ・多面的機能支払交付金 地域の活動組織に対して補助金を交付し活動を支援する。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				土地改良推進事業(維持管理・長寿命化率)					
				多面的機能支払交付金					
12. 農業の振興	12-4	「かみさとブランド」の確立 (総合戦略基本目標1-3)	産業振興課	環境にやさしい農業の推進	①順調	町独自の事業に加え、国庫補助事業を活用した減農薬栽培の促進など、安全安心な農作物作り、環境に配慮した持続可能な農業経営に効果があった。	みどりの食料システムにおいても環境保全型農業の推進目標が掲げられていることから、上里町においても発展的な取組み期待されている。JAと連携したイベント等を通じ、上里産農産物の販売促進を図る。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
①	12-1	新規就農者数	累計50人	8人(平成26年度)	累計30人	累計36人(年17人)	累計40人	累計40人(年4人)	累計50人	累計53人(年13人)	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和2年～6年の累計 40人
③	12-2	認定農業者数	累計130人	123人	126人	126人	128人	累計126人	130人	累計131人	①大きく達成(100%以上)	—
④	12-2	農地中間管理事業実施面積	500ha	15ha	270ha	348ha	340ha	428ha	500ha	511ha	①大きく達成(100%以上)	—
⑤	12-2	遊休農地率	1.00%以下	1.42%	1.17%	1.90%	1.08%	1.72%	1.00%	1.57%	③未達成(70%未満)	農用地利用状況調査
⑥	12-4	6次化製品の開発数	累計5品	—	累計3品	累計1品(年0品)	累計4品	累計3品(年2品)	累計5品	累計8品目(年5品)	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標を変更 目標値: ふるさと納税返礼品のうち6次産業による商品の数10%

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
13. 商工業の振興	13-1	経営安定化への支援	産業振興課	中小企業信用保険法に基づく特定中小企業者の認定 制度融資等に関する情報提供・相談	①順調	埼玉県制度融資におけるセーフティネット保証認定などにより、中小企業の資金繰り支援を行うことができた。令和2年度以降はコロナ対策として様々な地域経済対策を実施した。	感染症の収束が見えない中、地域経済を支える中小企業の経営継続と経営改善に向けた取り組みについて支援を継続する。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	13-2	起業・新分野への進出の促進(総合戦略基本目標1-4)	産業振興課	産業競争力強化法に基づく創業支援事業	①順調	創業支援事業計画の拡充を図るとともに、起業支援事業の創設と改善を図り3件の起業を支援した。	起業意向者に対して、商工会等と連携し創業支援事業計画もとづく支援を推進するとともに、起業支援事業の適切な運用を図る。	②概ね順調	創業支援を受けて創業した件数が目標値に達していないが、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	13-3	企業誘致の推進(総合戦略基本目標1-1)	産業振興課	企業誘致事業(施設奨励金、雇用促進奨励金、法人町民税奨励金の交付)	①順調	2社の新規工場に対し奨励金を交付した。併せて、旧農工法導入地区への立地を促進するため奨励金制度の拡充を行った。また、工場立地法地域準則条例を策定し企業進出の促進と町内起業の経営改善支援環境を整備した。	企業誘致奨励金について適切な運用を図る。また、各企業の立地意向に合わせ、候補地の調査等を行うとともに、各段階に応じ伴走的型援を行う。このはなパーク周辺における民間資本を活用した観光的土地利用や農業的土地利の検討を行う。	②概ね順調	上里町企業誘致条例に基づく新規立地企業数が目標値に達していないが、件数の増及び奨励金の交付など実績値は伸びており、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	数値目標									備考
				平成27年度計画策定時		令和元年度		令和2年度		令和3年度			
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度		
①		製造品出荷額等	1,200億円	1,174億円(平成26年度)	1,186億円	1,364億円	390億円	1,330億円	1,200億円	R4.12月公表予定	実績値なし	工業統計調査 又は経済センサス活動調査	
②		年間商品販売額	390億円	388億円(平成26年度)	390億円	389.5億円	390億円	389.5億円	390億円	389.5億円	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	商業統計 又は経済センサス活動調査	
③		主な買い物場所が上里町の割合	60.0%	53.5%	57.5%	53.5%	58.5%	53.5%	60%	53.5%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	埼玉県広域消費動向調査(商品総合)	
④	13-2	創業支援対象者数	4件	1件	1件	6件	1件	14件	4件	0件	③未達成(70%未満)	—	
⑤	13-2	創業支援事業計画に伴う補助金の交付件数	累計2件	—	2件	0件	2件	累計3件(年3件)	2件	累計3件(年3件)	①大きく達成(100%以上)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和2~6年度の5年間で合計2件	
⑥	13-2	創業支援を受けて創業した件数	1件	0件	1件	3件	1件	4件	1件	0件	③未達成(70%未満)	—	
⑦	13-3	上里町企業誘致条例に基づく新規立地企業数	累計3社	1社(平成26年度)	累計3社	累計1社	累計3社	累計1社	累計3社	累計2社	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和2~6年度の5年間で合計2社	

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
14. 観光・交流のまちづくりの推進	14-1	観光拠点の充実(総合戦略基本目標2-2)	産業振興課	農業振興プロジェクトによる農業観光の推進	①順調	新たな組織「上里町産業観光事業等推進会議」を設置し、「このはなフェス」を企画したが感染拡大の影響で中止となったが、令和2年より「田んぼオーナー制度」を実施(JA主催)し、上里産の米、野菜のPRを行った。	SA周辺地区の農業体験ゾーンについて、このはなパークのイメージに沿った事業展開を検討する。 田んぼオーナー制度については、事業主体のJAと連携し発展的な継続を図る。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	14-2	多様な観光交流の推進(総合戦略基本目標2-2)	産業振興課	集客イベント・キャンペーンの充実	②概ね順調	感染症拡大前は上里SA等において町農産物PRイベント等を実施したが、令和2年度以降は感染拡大の影響で集客イベントは開催自粛となった。観光マップなどをSA内に設置するなど上里町のPRを行った。	コロナ感染症の状況に応じたイベント実施を検討する。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
			まちづくり推進課	上里ゴルフ場の充実(イベントの開催等)	②概ね順調	オープンコンベヤや来場者特典などのイベントを実施した。計画当初と比較し約2割の利用者増と概ね順調である。	必要に応じて取り組み方法を工夫し、来場者の維持を目標とする。		

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時年度目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
					中間目標値	実績値	中間目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
					①	14-2	年間観光客入込客数	70,000人	56,324人(平成26年度)	60,000人	70,402人	
②	14-1	年間観光客入込客数(内上里ゴルフ場年間利用者数)	53,000人	42,586人(平成26年度)	43,000人	51,202人	47,500人	41,664人	53,000人	50,170人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:減少を抑え現在の水準(47,500人)を維持する
③	14-1	農村公園年間来客者数	35万人	—	30万人	28万5千人	35万人	25万7千人	35万人	26万9千人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:アグリパーク上里年間来客数令和6年度 35万人

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
15. 雇用対策の推進	15-1	雇用の安定 (総合戦略基本目標1-5)	産業振興課	ハローワークと連携した就職相談等	②概ね順調	スマートホンの普及により、町端末利用者数は減少しているが、町窓口で求人情報を設置した。感染拡大に伴う就労機会減少による生活困窮者からの相談が寄せられた。	ハローワークの情報検索アプリを活用した情報提供を行うとともに、情報検索アプリの周知に努める。検索機能の充実により対面相談件数は減少が見込まれるが、相談者に対しては、個々の事情に応じた対応を心掛ける。	②概ね順調	町設置端末での求人情報の利用者数が目標値に達していないが、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				高齢者いきいき課	シルバー人材センターへの支援	①順調	令和3年度より実施した広報活動の一つとして、定期的に「お仕事説明会」の記事を奇数月の町広報誌に内容を変更しながら掲載したことは、シルバー人材センターの地道な勧誘活動と併せて、高齢者の地域社会の参加の場としてのシルバー人材センターの活性化を図るために必要な登録人数の増加に至った手段として非常に有効だった。また、第8期介護保険事業計画に介護人材の不足を野放しにするための施策として、元気高齢者へのセミナー実施等を盛り込み、シルバー人材センターと連携して事業を検討しようと考えたが実施できなかった。		
	15-2	就労環境の改善 (総合戦略基本目標1-5)	産業振興課	中小企業退職金共済制度の普及促進 就労環境の改善等の促進 仕事と生活の調和の促進	②概ね順調	前期基本計画で、令和元年に13件の実績など、目標を達成した年度がある一方で、令和2年度、3年度においては新型コロナウイルスによる新規採用者の減少などにより加入者が伸び悩んだことで目標達成に至らなかった。	単独では退職金制度をもつことができない中小・零細企業に対し、国の援助で行う「中小企業退職金共済制度」は、従業員の生産性の向上と人材の安定確保につながるため、引き続き、商工会と協力し制度の周知による加入促進を行う。	②概ね順調	中小企業退職金共済制度の加入件数については、数値目標の達成に至らなかった。制度継続のため、制度の周知により引き続き加入促進のための取組を行うこと。

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時 現状値	数値目標						備考	
					令和元年度		令和2年度		令和3年度			
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値		達成度
①	15-1	町設置端末での求人情報の利用者数	100人	5人(平成28年4月分)	60人	9人	80人	7人	100人	9人	③未達成(70%未満)	—
②	15-1	就職相談者数	累計56人	—	累計40人	累計38人	累計48人	累計47人	累計56人	累計55人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和2~6年度の5年間合計 40人
③	15-1	シルバー人材センター登録者数	255人	213人(平成26年度)	255人	210人	255人	234人	255人	245人	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値: 令和6年度 240人
④	15-2	中小企業退職金共済制度の加入件数	8件	5件	6件	13件	7件	1件	8件	0件	③未達成(70%未満)	商工会及び金融機関等での受付件数

基本理念4. 人が輝くまち

令和3年度
総合振興計画実施計画 効果検証シート
基本理念4 人が輝くまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
16. 学校教育の充実	16-1	教育内容の充実(総合戦略基本目標3-4)	教育指導課	教員指導力向上研修	②概ね順調	・コロナ禍の中で、変更はあったが、年間指導計画に研修を位置付け、指導力向上につながる有意義な研修が実施された。 ・コロナ禍により変更もあったが毎年30人前後まで参加希望者があり、毎年50回前後は実施することができた。 ・研修だけでなく、日々の教職員の授業改善に向けたきめ細やかな支援が行われた。 ・体力向上推進委員会を中心として、各校の課題の把握と向上に向けた推進計画を作成した。また、日本女子体育大学との包括的連携に向けた実施計画等の作成をし、体力向上推進にむけた中心的役割を担った。 ・小学校では、外国語や外国語活動の授業においてALTとの授業を楽しみに行っている児童の様子があつた。コロナ禍により変更があつたが8月上旬の「英語でしゃべろう合宿・体験」は計画し、申込み多数であつた。 ・自らの課題として取り組めるような様々な研修会や講演会を開催したことにより、人権問題の解決と差別のない明るい町づくりに繋げる意識を推進することができた。	・上里町の全小中学校で実施している学び合い学習について知見を有する指導者を招聘し、学び合い学習のより効果的な実施を図る。また、先進校への視察や教育講演会を行う。 ・月曜日と木曜日を中心として、年間65回以上の実施と定員を希望に合わせた規模にできるような整備を図る。 ・学校教育に対し専門的識見を有する「学力向上指導員」を配置し、適宜派遣、指導助言を行い、全小中学校における学び合い学習の実施・定着を図る。 ・日本女子体育大学との包括的連携を強化し、上里町の児童生徒の体力向上を図る。 ・ALTを5名を全小中学校に派遣し、小学校・中学校ともに英語におけるコミュニケーション能力の向上に向けた授業の充実を図る。 ・「人権感覚育成プログラム」を年間指導計画に位置づけ、授業実践を行う。また、人権問題を計画的に取り上げる「上里町人権講演会」等、人権問題の解決に向けた研修会を開催する。	②概ね順調	「新体力テスト(144種目)において県平均以上である種目数」の数値目標が達成には至っていないが、施策として効果があつた。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
				中学生学力アップ教室					
				学力向上指導員の配置					
				体力向上の取り組みの推進					
				国際理解教育の推進					
道徳教育・人権教育の推進									
16. 学校教育の充実	16-2	児童生徒の個に応じた支援体制の充実	教育指導課	特別支援教育の推進(特別支援学級生活支援員、介助員の配置、臨床心理士による巡回相談の実施等)	②概ね順調	・全小中学校で巡回相談を計画的に実施し、特別な配慮を要する児童への日々の関わりや学習について生かすことができた。また、児童支援員や介助員、特別支援学級生活支援員の配置をし、個に応じた指導の充実を図ることができた。 ・それぞれ配置した役割を理解し、個に応じた支援を行うことができた。また、ふれあい教室との連携も図れた。 ・家庭環境や生活リズムなど不登校児童生徒の要因が多様化により、減少には至っていない。	②概ね順調	「1年間に30日以上欠席した不登校児童生徒数」の数値目標が達成には至っていないが、施策として効果があつた。児童生徒への個別の対応ができるよう、スクールカウンセラー等専門員と連携し、後期基本計画においても引き続き事業を継続すること。	
				悩み等への対策の推進(さわやか相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童支援員、学習支援員の配置、ふれあい教室との連携等)					
16. 学校教育の充実	16-3	教育環境の整備	教育指導課	家庭教育の推進	②概ね順調	・家庭教育の更なる充実を図るべく「幼児を持つ親の学習」、「就学時健康診断時における親の学習」、「6年生を持つ親の学習」等、児童生徒の発達段階に即した学習会を開催したことで、家庭教育の充実を図ることができた。 ・学校応援団コーディネーターが学校の担当者として地域の関係者との連絡調整を図り、防犯パトロールを実施し、安心安全に向けた取組がさらに充実した。ミンボランティアや普遊び等の学習支援については、コロナ禍により変更を余儀なくされた。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の変更が生じたが、全体として取組については順調に実施しており、施策として効果があつた。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
				学校応援団活動の活性化					
				学校施設・設備の改修・更新					
			教育総務課	安全対策の推進	①順調	計画・予算化されていた施設・設備の改修・更新工事を実施した。 令和2年3月に「学校施設の長寿命化計画(個別施設計画)」を作成し、以降は計画に基づく改修工事等を実施した。 衛生環境改善を図るため体育館トイレ等の改修工事を実施した。 消防・給排水設備等の改修・交換工事等を実施した。			

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時	令和元年度			令和2年度		令和3年度			備考
					現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	達成度	
①	16-1	全国学力学習状況調査の全国平均を100とした時の上里町の値	国語:100 算数・数学:100	国語 92 算数・数学 88 (平成26年度)	国語100 算数・数学100	国語95 算数・数学91	国語100 算数・数学100	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業のため、調査がなかつたため実績値なし	国語:100 算数・数学:100	国語96 算数・数学88	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	全国学力学習状況調査(上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標) ※ 第2期総合戦略の目標値:国語100 算数・数学100	
②	16-1	理科が好きな生徒の割合	84%	79%(平成26年度)	84%	アンケートの実施がなかつたため実績値無し	84%	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業の影響で、調査ができなかつたため実績値なし	84%	74.6%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	全国学力学習状況調査(上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標) ※ 第2期総合戦略では指標が変更	
③	16-1	中学2年英語における「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の値	83%	78%(平成26年度)	83%	アンケートの実施がなかつたため実績値無し	83%	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業の影響で、調査ができなかつたため実績値なし	83%	76.6%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	埼玉県学力・学習状況調査(上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標) ※ 第2期総合戦略では指標が変更:中学校3年卒業時の英検3級所得率 20%	
④	16-1	新体力テスト(144種目)において県平均以上である種目数	83種目	73種目(平成26年度)	83種目	47種目	83種類	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業のため、調査がなかつた	83種目	50種目	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:73種類	
⑤	16-2	1年間に30日以上欠席した不登校児童生徒数	15人	23人(平成26年度)	15人	57人	15人	21人	15人	32人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:31人以下	
⑥	16-1	授業の満足度	87%	82.0%	87%	84.1%	87%	87.0%	87%	87.0%	①大きく達成(100%以上)	保護者アンケート	

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価		数値目標															
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見	番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考			
															年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度				
17. 生涯学習の充実	17-1	教育内容の充実	生涯学習課	公民館事業の推進(せせらぎ大学、サルビア学級、主催事業等)	②概ね順調	公民館事業参加者数は、平成30年度に目標値を達成したが、その後は新型コロナウイルス感染症の拡大により、公民館閉鎖や事業中止・規模縮小が続き、目標値達成とはならなかった。しかし、コロナ禍であっても実施可能で上里の魅力を再発見する新たな試みとして「上里フットコンテスト」を令和2年度から実施した。 ふるさと学の受講者数は、地区館の講座においても対象テーマが増えたことにより、受講者も徐々に増加している。 放課後子ども教室のびっこ教室やちやれんじクラブの米作り体験教室については、全小学校へ参加の募集をし実施することができた。 わんぱく合宿塾、子ども大学ほんじょうは中止。 親の学習については、子育て中の親への子育てに関するヒントを与え、親同士の交流を図ることができた。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館の閉鎖を余儀なくされたことから、「公民館事業参加者数」については、目標の達成に至らなかった。しかしながら、コロナ禍でできる事業を実施するなど工夫を行い公民館活動の推進を行ったことから、施策として効果があった。 後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	①	17-1	公民館事業参加者数	10,000人	9,362人	10,000人	9,118人	10,000人	926人	10,000人	1,545人	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略の目標値:令和2～6年度の5年間合計 2,100人				
				(再掲)放課後子ども教室推進事業					公民館事業参加者数は、平成30年度に目標値を達成したが、その後は新型コロナウイルス感染症の拡大により、公民館閉鎖や事業中止・規模縮小が続き、目標値達成とはならなかった。しかし、コロナ禍であっても実施可能で上里の魅力を再発見する新たな試みとして「上里フットコンテスト」を令和2年度から実施した。 ふるさと学の受講者数は、地区館の講座においても対象テーマが増えたことにより、受講者も徐々に増加している。 放課後子ども教室のびっこ教室やちやれんじクラブの米作り体験教室については、全小学校へ参加の募集をし実施することができた。 わんぱく合宿塾、子ども大学ほんじょうは中止。 親の学習については、子育て中の親への子育てに関するヒントを与え、親同士の交流を図ることができた。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館の閉鎖を余儀なくされたことから、「公民館事業参加者数」については、目標の達成に至らなかった。しかしながら、コロナ禍でできる事業を実施するなど工夫を行い公民館活動の推進を行ったことから、施策として効果があった。 後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	②	17-1	ふるさと学の受講者数	累計450人	—	累計300人	累計343人	累計375人	累計438人		累計450人	累計843人	①大きく達成(100%以上)	
				わんぱく合宿塾事業								③	17-3	年間図書貸出冊数	200,000点	198,177点	181,480点	155,499点	199,950点	77,279点		200,000点	122,602点	③未達成(70%未満)	
				親の学習・親になるための学習								④	17-4	歴史・文化の保全・活用の満足度	30%	21.1%	26%	14.2%	27%	アンケート未実施		30%	13.8%	③未達成(70%未満)	計画策定時のアンケート調査
				生涯学習を担う人材の育成								⑤	17-4	郷土資料館利用者数	8,000人	6,456人	6,000人	5,176人	7,100人	3,095人		8,000人	3,724人	③未達成(70%未満)	施設見学・講座・レファレンスなどの確認できる総数
				子ども大学ほんじょう事業								③やや不調	公民館は、各小学校区に地区公民館が配置され、災害避難場所としても指定されているため、上里町公共施設再配置・維持保全計画との整合を図りながら適正に管理・運営を行っている。 図書館は指定管理者による管理運営を行っており、職員の日常点検と業者の定期点検を実施し、施設の大規模修繕につながらないように常に注意して管理する。	②概ね順調	各生涯学習施設の管理については、公民館の計画改修(修繕)等を実施していることから、施策として効果があった。 後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。										
のびっこ教室																									
17-2	教育環境の整備(総合戦略基本目標4-3)	生涯学習課	生涯学習施設管理・運営事業	③やや不調	公民館の施設管理については、計画的に修繕・改修を行った。 図書館エントランスホールの水銀灯をLEDへ改修、郷土資料館常設展示室の改修工事を行った。	②概ね順調	各生涯学習施設の管理については、公民館の計画改修(修繕)等を実施していることから、施策として効果があった。 後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。																		

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
					17-3	図書館の充実	生涯学習課	図書館管理・運営事業 (図書等の収集、貸出、調査相談、イベント開催等) 読書活動推進事業	①順調
17-4	歴史・文化の保全と活用	生涯学習課	郷土資料館・出土文化財管理センター運営事業(特別展示、歴史講座・歴史教室、夏休み体験学習等) 町指定無形文化財への助成 歴史・文化資源の発掘・活用	③やや不調	コロナ対策として、施設の入場制限や、講座の人数制限及び郷土資料館の改修工事期間に閉鎖したこともあり、施設の十分な活用ができなかった。前期基本計画中に、2件の文化財指定を行うことができた。	コロナ対策に留意しながら、特別展示、歴史講座・歴史教室、夏休み体験学習等を実施し、歴史・文化資源の発掘・活用を実施する。	②概ね順調	数値目標の達成に至っていないが、コロナ禍であっても展示やイベント等を実施することができた。また歴史・文化資源の発掘については順調に進んでいることから、施策として効果があった。引き続き事業を継続しつつ施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
17-5	文化・芸術の振興	生涯学習課	芸術鑑賞事業	②概ね順調	令和3年度実績 コンサート等15事業(参加総人数1,254人)、学級講座は2事業(参加人数は65人)。	まん延防止等重点措置期間中に予定していたワープフェスタや芸能祭り等は実施できなかった。今後も引き続き新型コロナウイルス感染症を考慮した新しい生活様式に適した形でイベントを検討・実施していく。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化祭が中止となり、文化協会加盟者数について目標数値の達成に至らなかったが、文化団体への支援及びワープ上里等での事業は実施できていることから、施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
			文化団体への支援	②概ね順調	上里町文化協会 各加盟団体は、高齢化と新型コロナウイルス感染症による活動停滞期の影響もあり、協会脱会や会員数の減少傾向が進行した。 ・加盟団体数 展示部門:13団体 (3団体減) 芸能部門:11団体 (2団体減) 合計:24団体 (5団体減) ・加盟者数 展示部門:239人 (60人減) 芸能部門:158人 (94人減) 合計:397人 (154人減) ・文化祭事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度から2年間が中止となった。それまでは、ほぼ目標達成であった。	社会教育団体の育成として、上里町文化協会の運営支援を行い、活性化を図る。			

数値目標												
番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
				現状値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
⑥	17-5	文化協会加盟者数	600人	579人	600人	520人	600人	450人	600人	397人	③未達成 (70%未満)	—
⑦	17-5	文化祭来場者数	3,000人	2,787人	3,000人	2,354人	3,000人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止	3,000人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止	未実施	—

基本理念4 人が輝くまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
18. 生涯スポーツの振興	18-1	スポーツ・レクリエーション活動の促進(総合戦略基本目標4-2)	生涯学習課	スポーツ教室・イベントの開催・開催支援	②概ね順調 新型コロナウイルス感染拡大防止により、マラソン大会や町民体育祭、ハイキング教室などが中止となった。新規事業として、オンラインで走行(歩行)距離を競うアウトバーランドウォークに上里町として参加。また、西武ライオンズとの連携事業の一環として小学生を対象とした野球教室を開催した。こむぎっぴ体操については、コロナ禍により実施数の増加に至らなかった。また、スポーツ協会やスポーツ少年団における指導者に対しては、暑さ指数測定器を配布した他、県大会等への出場団体への補助なども行った。	魅力ある事業・イベントの開催、こむぎっぴ体操を中心とした軽スポーツの周知。指導者への研修や競技スポーツに対する補助なども引き続き行っていく。	②概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、こむぎっぴ体操を実施した事業所数については目標の達成に至らなかった。しかしながら、イベントの開催では、コロナ禍でも可能な新規事業を開始するなど、工夫して実施していることなどから、施策としては効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
				「こむぎっぴ体操」の普及					
				スポーツ団体・指導者の育成					
				競技スポーツの振興					
	18-2	スポーツ・レクリエーション環境の整備	生涯学習課	スポーツ施設の補修・改築(夜間照明等)	①順調 平成30年度に町民体育館の改修工事(天板撤去・照明LED化、床改修)を実施。令和元年度には上里中学校夜間照明にLED照明を設置。社会体育施設や都市公園施設、学校体育施設についても、スポ少や体協、地域住民の方々が積極的に利用された。ウォーキングコースについては、コロナ禍により事業での活用ができなかった。	体育施設・ウォーキングコース等のさらなる利用促進のため、施設修繕や整備を行っていく	①順調	施策として効果があった。引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	
				スポーツ施設の運営管理					
				学校体育館・校庭の地域開放					
				こむぎっぴウォーキングコースの設置					

番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考
					年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度	
					①	18-1	週に1回以上、スポーツ活動を行う割合	70%	65%	70%	54.9%	
②	18-1	こむぎっぴ体操を実施した事業所数	12か所	3か所(平成26年度)	10か所	7か所	12か所	7か所	12か所	7か所	③未達成(70%未満)	上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標 ※ 第2期総合戦略では指標を変更 目標値:こむぎっぴ ちよつくら健康体操の参加者数 432人
③	18-2	ウォーキングコースの設置	4コース	0コース	4コース	6コース	6コース	6コース	4コース	6コース	①大きく達成(100%以上)	—

基本理念5. みんなで支えあうまち

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価		数値目標																											
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見	番号	施策項目番号	指標名	最終目標値(令和3年度)	平成27年度計画策定時 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度			備考															
															年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値	実績値	達成度																
19. 住民自治の振興	19-1	地域活動の活性化	総務課	行事公演事業	②概ね順調 区長会、コミュニティ協議会といった主団体への協力・連携のほか、地域の集会所・公会堂の修繕や掲示板設置の補助など、さまざまな支援・補助を行っている。	引き続き、各行政区をはじめとする地域コミュニティが育つよう、町としての支援を行っている。	②概ね順調 積極的に近所づきあいや地域活動に参加している人の割合については、目標の達成には至らなかった。取組内容から数値目標の達成に繋げるには難しい状況にあるが、引き続き事業を継続し、地域活動の活性化の推進に取り組むこと。	①	積極的	①	19-1	積極的に近所づきあいや地域活動に参加している人の割合	50%	42.0%	50%	55.5%	50%	アンケート未実施	50%	34.7%	③未達成(70%未満)	計画策定時のアンケート調査															
				行政区運営・コミュニティ協議会運営支援事業																																	
				コミュニティ活動事業																																	
			生涯学習課	NPO法人への支援(法人町民税・固定資産税・軽自動車税の減免)																			①順調	新成人による成人式実行委員会を組織し、実行委員による成人式を開催することができた。	引き続き新成人による成人式実行委員会を組織し、成人式を開催する。式典の名称については、実行委員会議事で協議し決定する。	②概ね順調	パブリックコメント募集案件の平均意見人数	5人	—	3人	1人(5人/5計画)	4人	0.85人(6人/7計画)	5人	0.75人(3人/4計画)	③未達成(70%未満)	—
				成人式の開催																																	
				広報かみさとの発行																																	
	電子媒体による広報の推進																																				
	[再掲]シティプロモーションの推進																																				
	19-2	広報・広聴の充実	生涯学習課	上里町こむぎつつカレンダーの作成	①順調	町関係各課や関係機関と調整し、町の行事予定や暮らしに役立つ情報を中心に作成することができた。広報4月号と同時に全戸配布を行ったが、転入者等へ窓口での配布を行った。	引き続き、町関係各課や関係機関と調整し、町の行事予定や暮らしに役立つ情報を中心に作成する。	②概ね順調	積極的	①	19-4	社会全体において男女の地位が平等だと感じる人の割合	25%	17.8%	25%	18.8%	25%	アンケート未実施	25%	18.6%	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	計画策定時のアンケート調査															
				パブリックコメントの推進																			②概ね順調 前期基本計画の計画期間中、1つの案件に対する平均意見人数が目標値に達する年度はなかった。しかしながら、5年間で意見を募集した計画は22計画、19人の方から62の意見が出された。パブリックコメント募集の際は、広報かみさとや、ホームページへの掲載と、庁舎総合案内への設置を行うと共に、適宜計画の概要版も設置するなど意見が言いやすくなる工夫をした。	今後についても、各種政策に対する町民の意見の反映が十分になされるよう、パブリックコメント制度についての周知を積極的に行う。													
				外国人住民と交流している人の割合																					15%	5.7%	15%	11.9%	15%	アンケート未実施	15%	参考値10.4%	③未達成(70%未満)	計画策定時のアンケート調査 実績値は後期基本計画策定時のアンケートのうち類似する設問：「外国籍の方との交流の有無と交流の内容について」に対する有るの回答かつ、「家に行ったり一緒に出かけたりする」と「立ち話をする」の割合の合計値とする			

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
19. 住民自治の振興	19-3	人権啓発・教育の推進	生涯学習課	人権啓発・教育事業	①順調 あらゆる人権問題を取り上げる「上里町人権講演会」は中止となったが、「上里町人権サポーター養成講座」や、各小中学校を会場としてPTAや育成会などが参加する「子どもの人権研修会」は一部の学校で開催し、人権教育と啓発を推進することができた。	引き続き、あらゆる人権問題を取り上げる「上里町人権講演会」や「上里町人権サポーター養成講座」、各小中学校を会場としてPTAや育成会が参加する「子どもの人権研修会」を開催し人権教育と啓発を推進する。	②概ね順調 人権を大切にすることは、会員の高齢化等により会員数が年々減少傾向にあるため会員の確保と新規加入者の呼びかけを行う。	人権サポーター養成講座修了者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、数値の達成には至らなかったが、他では、コロナ禍であっても参加可能な事業の実施や、感染対策を講じた上での相談事業を実施するなど、昨年度からの改善点が見られる。	
				人権を大切にすることを育成					
				子育て共生課					相談事業（法律相談、人権相談、心配ごと相談等）
	19-4	男女共同参画の推進	子育て共生課	男女共同参画推進センターの運営	②概ね順調 相談事業については年間通して行い、相談者が抱える問題の解決を支援した。悩みごと相談については対面だけでなく電話での対応をすることにより相談日に必ず相談員が対応できるよう体制を強化した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業の開催が困難な時期もあったが、可能な方法で事業を行い啓発を行った。	新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえながら発症前の事業を再開し、啓発の推進を図っていく。	②概ね順調 施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。		
				女性のための総合相談事業（悩みごと・法律）					
				男女共同参画推進団体の育成					
配偶者等暴力対策の推進									
19-5	多文化共生の推進	総務課	生涯学習課	②概ね順調 あらゆる人権問題の早期解決を図り、差別のない明るい町づくりを全町民で進めるための「上里町人権講演会」は中止となったが、「上里町人権サポーター養成講座」や、各小中学校を会場としてPTAや育成会などが参加する「子どもの人権研修会」は一部の学校で開催し、人権教育と啓発を推進することができた。人権を大切にすることは、役員会や書面による総会の開催、ヒューマンファーストオンラインへの参加等コロナ禍であったが、事業を実施することができた。	引き続き、あらゆる人権問題の早期解決を図り、差別のない明るい町づくりを全町民で進めるための「上里町人権講演会」や、「上里町人権サポーター養成講座」、各小中学校を会場としてPTAや育成会などが参加する「子どもの人権研修会」を開催し、人権教育と啓発を推進する。人権を大切にすることは、ヒューマンファーストオンラインへの参加や人権啓発に関する各種イベント等への参加を呼びかける。	②概ね順調 外国人住民と交流している人の割合については、数値の達成には至らなかったが、日本語でのコミュニケーションが難しい方に対する窓口支援ツールの導入を行うなど、施策としての効果はあった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。			
			行政サービスの多言語・多文化対応の推進	②概ね順調 「言語」による隔たりを無くすため、多言語映像通訳サービス「みえる通訳」を導入した。専用タブレット端末による映像通訳機能をかして「人」による通訳支援を受けられるため、役場窓口でのコミュニケーションツールとして運用している。	国際理解としてJICA（国際協力機構）海外協力隊の任国紹介パネルの活用を計画している。				
			多様な多文化共生事業の検討・実施						

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価		数値目標										備考													
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見	番号	施策項目番号	指標名	最終目標値 (令和3年度)	平成27年度 計画策定 現状値	令和元年度		令和2年度		令和3年度														
															年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	最終目標値		実績値	達成度											
20. 健全な行政運営の推進	20-1	PDCAサイクルによる事業推進	総合政策課	行政評価事業	②概ね順調 計画期間は一貫して実施事業の取組状況や事業効果を踏まえた予算編成事務を行っている。令和4年度予算編成方針においても、『令和4年度は効果検証による成果を發揮し、新たな目標達成に向けた、取り組みを開始する年度』である旨及び『実施した取組の検証に基づき、改善による目標達成や、新規目標の達成に向けた予算編成を行うこと』とする旨を通知した。予算要求時には計画に位置付けのある事業を明確(総振〇〇の記載等)にし、進捗状況や今後の動き等を確認した上で、予算編成事務を行った。	引き続き、各計画に基づいた事業においてその効果の検証等を踏まえた予算編成事務に取り組んでいく。	②概ね順調	施策として効果があつた。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。	①	職員待遇・仕事のスピード・開庁時間・手続きに不満を感じている人の割合 (「職員の対応・態度が悪い」「仕事が遅い・待たされる」「利用時間が不便」「手続きが煩雑」に対する回答が「そう思う」の平均値)	ゼロをめざす	7.6%	ゼロをめざす	参考値3% (類似アンケートの結果のため)	ゼロをめざす	アンケート未実施	ゼロをめざす	(参考値) 2.6%	③未達成(70%未満)	計画策定時のアンケート調査実績値は後期基本計画策定時のアンケートのうち類似する設問:「町職員対応」「窓口対応の早さ」「平日の開庁時間」「手続きのしやすさ」に対する回答のうち、「非常に悪い」の平均値とする													
				予算編成事務																													
	20-2	健全で効率的な行政組織づくりの推進	総務課	人事マネジメントの推進(採用・育成計画の推進、定員管理、人事評価、職員提案制度)	②概ね順調 定員管理計画に基づいた人員の管理、定期的実施している人事評価など人事マネジメントの推進については実施している。	行政需要に応じた人員配置を定員管理計画と合わせて引き続き検討していく。また、併せて職員のメンタルヘルスについても取り組んでいく。	②概ね順調	施策として効果があつた。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。													②	20-2	情報資産への驚異的事象の発生件数	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	①大きく達成(100%以上)	—
			総合政策課	情報化の推進(埼玉県町村会情報システム共同化事業、財務会計・グループウェアシステム事業、市町村電子申請業務事業、個人情報保護、電子自治体推進協議会)	②概ね順調 「埼玉県情報システム共同化推進協議会」では、基幹システムの共同運用とシステム改修に係るコスト低減を図るとともに、情報システム標準化・共通化に向けた検討を実施した。DX推進計画に掲げるオンライン化すべき27手続についてびったりサービスによるオンライン申請受付環境を整備した。埼玉県スマート自治体推進会議においてAI・RPAの共同利用の検討を行い、音声テキスト化システムの利用を開始した。	上里町DX推進計画を策定し、計画に沿った情報システムの整備・情報施策を実施する。																											
20. 健全な行政運営の推進	20-3	健全な財政運営の推進	税務課	税の適正な賦課と徴収	①順調 納税環境の拡充と併せて、文書催告や差押えなどの滞納整理強化の効果もあり、目標値は達成できた。実績では前年度比+0.51ポイントの99.27%となった。	引き続き、催告の工夫や納税環境の整備を推進する。また、滞納者については、早期の財産調査及び差押等の滞納処分を実施する。	②概ね順調	使用料・手数料の見直しについて、前期基本計画期間内での実施に至っていないため、調査・研究を進め後期基本計画期間内での見直しを進めること。	④	20-3	財政調整基金現在高の標準財政規模に対する割合	20.0%	18.70%	16.0%	R1末財調残高 1,011,739千円 /R1標準財政規模 6,012,390千円 =16.83%	R2末財調残高 1,438,117千円 /R2標準財政規模 6,259,368千円 =22.98%	20.0%	R3末財調残高 1,503,569千円 /R3標準財政規模 6,666,152千円 =22.56%	①大きく達成(100%以上)	—													
			総務課	使用料・手数料の徴収及び見直し	③やや不調 使用料・手数料は適正に徴収している。見直しについては、コロナ禍において増額をともなう、条例改正等を進めることはできませんでした。	引き続き、使用料・手数料については適正に徴収していく。また、見直しについては今後のコロナの状況等を鑑み、適切なタイミングで条例改正等ができるよう準備をしていく。																											
			総合政策課	有料広告事業	有料広告事業では、広報かみやホームページへのバナー掲載により、企業等より掲載料を得ている。	掲載料を得るため、有料広告事業も引き続き行う。																											
			総合政策課	ふるさと納税の推進	②概ね順調 ・ふるさと納税の推進 計画期間を通じて事業者や産業振興課等他課と情報交換をしながら適宜運用改善及び返礼品の充実や寄附件数の増加を図っている。令和元年度からはポータルサイトの活用を開始し、以来、寄附件数、寄附額ともに従来の実績を大きく上回る結果となっている。	・ふるさと納税の推進 制度の動向を注視しつつ、引き続きポータルサイトの運用改善等により、返礼品の充実、寄附額・寄附者の増加を目指す。																											
			総合政策課	財政事情公表事業	・財政事情公表事業 計画期間を通じて説明資料において町の新規事業や全国的なトレンドを踏まえた内容を具体的に記載し、住民にとってよりわかりやすい資料の公表に努めている。	・財政事情公表事業 引き続き、住民にとってわかりやすい資料の公表に努める。																											
			総合政策課	補助金・負担金の整理	・補助金・負担金の整理 計画期間を通じて慣例にとらわれないゼロベースでの予算査定を行い、主に一般財源のみで実施する事業についてその実績を踏まえ、事業費の検討を行っている。	・補助金・負担金の整理 引き続きゼロベースでの査定や事業目的及び事業効果の検証、終期設定の検討を行うなどして整理を行う。																											
会計課	出納管理事務	①順調 大口の資金管理入力や伝票審査後の訂正等があつたが、各課と連携を図りながら、出納事務を行った。	計画的な資金管理と正確な伝票記載により、適正な出納管理事務を行う。	⑦	20-5	定住自立圏広域連携事業数	22以上	22	現状維持(22以上)	17	現状維持(22以上)	17	22以上	17	②ほぼ達成(70%以上100%未満)	上里町予算計上分																	

基本目標	施策項目番号	施策項目	担当課	主な取組・事業	担当課による自己評価			総合計画庁内策定委員会の評価	
					自己評価	前期基本計画の評価	今後の考え方	委員会評価	委員会意見
20. 健全な行政運営の推進	20-4	公共施設の最適化の推進	総合政策課	上里町公共施設等総合管理計画の推進 老朽化した施設の対応	②概ね順調	「上里町公共施設再配置・維持保全計画」に基づいた施設対策事業を実施した。「上里町公共施設点検マニュアル」を用いた自主点検を実施した。	「上里町公共施設再配置・維持保全計画」に基づく、着実な施設対策事業の実施により適正な公共施設維持管理・更新に努める。システムを用いてデータを一元管理・共有化することで、公共施設マネジメントに関する業務を効率化かつ安定的に実施していく。	②概ね順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
	20-5	広域連携の推進	総合政策課	定住自立圏構想の推進 児玉郡市広域市町村圏組合への負担金支出 公の施設相互利用協定事業 高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会への負担金支出	①順調	新たな「本庄地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、各種事業を実施した。 児玉郡市広域市町村圏組合負担金については継続して支出し、組合事業の安定運営を推進した。 公共施設相互利用については、施設の増減や状況に併せて適宜協定を改訂した。 高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会への負担金支出については継続して実施した。	新たな「本庄地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、各種事業を実施していく。 児玉郡市広域市町村圏組合負担金については継続して支出し、組合事業の安定運営を推進する。 公共施設相互利用については、施設の増減や状況に併せて適宜協定を改訂していく。 高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会への負担金支出については継続して実施していく。	①順調	施策として効果があった。後期基本計画においても引き続き事業を継続しつつ、施策の更なる発展を目指し、必要に応じて取り組み方法を工夫すること。
20. 健全な行政運営の推進	20-5	広域連携の推進	教育総務課	本庄・上里学校給食組合への負担金支出	①順調	本庄上里学校給食組合運営費負担金を継続して支出し、組合事業の運営を推進した。	本庄上里学校給食組合運営費負担金を継続して支出し、組合事業の運営を推進する。		